

イハト〜ブ

第27号
2011

巻頭言・寄稿・第31回岩手薬学大会報告・会務報告・
理事会報告・委員会の動き・保険薬局部会から・
支部の動き・検査センターのページ・薬連だより・
最近の話題・東日本大震災・質問に答えて・
知っておきたい医薬用語・気になるサプリメント・
リレーエッセイ・話題のひろば・職場紹介・
会員の動き・保険薬局の動き・求人情報・図書紹介

編集・発行／社団法人岩手県薬剤師会 平成23年9月30日



種山高原・星座の森（奥州市江刺区）

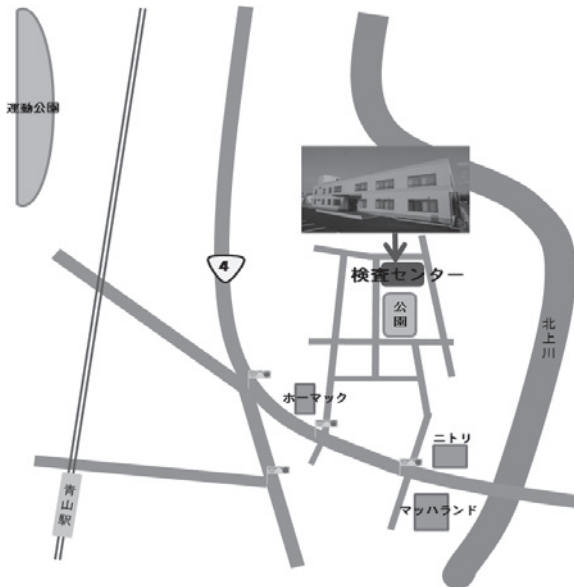
星座の森は種山高原のほぼ中央にあり、コテージやオートキャンプ場などで整備されたアウトドア施設です。その施設には賢治の童話「風の又三郎」の像があります。この童話の舞台、種山高原は賢治の作品に数多く登場しており、その牧歌的な風景をこよなく愛したと言われています。

平成 23 年 7 月 19 日から検査開始

放射性物質検査のご案内

放射性物質の検査を開始いたします。
飲料水、食品、土壌等の安全確認にご利用ください。

検査対象	飲料水・プール水、食品（農水産物）、土壌・汚泥等、その他
検査項目	放射性ヨウ素（I-131）、放射性セシウム（Cs-134, Cs-137） ※3核種それぞれの測定値をご報告いたします。
検査方法	Nal(Tl)シンチレーションスペクトロメータ機器分析法 (S49 文部科学省/科学技術・学術政策局/原子力安全課防災対策室)
検出限界	10Bq/kg～20Bq/kg（検査対象品によりますのでご確認ください）
検査手数料	飲料水等 13,000 円（税別）、その他 15,000 円（税別）
検体量	液体：2 リットル、食品等（可食部）：2 k g、土壌・汚泥等：500 g
報告日数	3～5 営業日
搬入方法	検体ごとにポリ瓶やチャック付ビニール袋に密閉してご持参ください (宅急便可)
注意事項	① 完全予約制とさせていただきます。 ② 検査終了後の検体は返却するか破棄し、保管いたしません。



社団法人 岩手県薬剤師会
会営

岩手県医薬品衛生検査センター

〒020-0125

盛岡市上堂三丁目 17 番 37 号

電話：019-641-4401

F A X：019-641-4792

E-mail：info@iwayaku-kensa.jp



計量証明事業所（濃度）、厚生労働省登録水質検査機関、厚生労働省登録簡易専用水道検査機関、厚生労働省登録医薬品検査機関、厚生労働省食品衛生登録検査機関、建築物飲料水水質検査業登録機関、温泉成分分析登録検査機関、作業環境測定機関、向精神薬試験研究施設登録、衛生検査所登録、ISO9001 認証取得



想定外 ～震災に思う～

(社)岩手県薬剤師会

常務理事 四倉 雄二

始めに3月11日の東日本大震災で被災された皆様に対してお見舞いを申し上げるとともに亡くなられた方々にお悔やみを申し上げます。

想像を絶する大震災から半年が経ちました。様々な事がありすぎて、あっと言う間に時が過ぎ去った感じがする一方、震災から時間が止まったままのような感覚を憶えることもあります。震災後、よく耳にするのが震災を挟んで考え方、感じ方が変わったと。私も震災の映像を見る度、話しを聞く度にこみ上げるものがあり、涙もろくなった自分に気がつきました。

数年前、当時のライブドアの社長が想定内と言う言葉を多用されたのを覚えている方は多いと思います。震災後は逆の想定外の文字が幾度となく多用されました。

想定外とは

「事前に予想した範囲を越えていること」

世の中には想定外の出来事が沢山起こります。小さいことと言えば6年生実務実習生の想定外な質問や、プール検査や空気検査に行った時の小学生の予想外の行動や質問、運転中の自転車の飛び出しも然り、しかし今回の震災ほど、予想をはるかに超えた、言葉では言い尽くせない想定外の出来事はありませんでした。

幼い時にチリ津波を経験し、大学を卒業して宮城県沖地震を間近で経験していても今回の揺れの長さはとても今までと違い嫌な予感がしました。とっさにどこが震源地だろうと思っても、電気がつかない、電話も通じないではどうしようもありません。揺れが収まった後は病院の中で患者さんの無事や建物の損傷をそれぞれで確認してまわりました。その後、停電で止まったエレベーターの代わりに、地下厨房から各病棟まで職員総出で患者さんの給食を手渡し、情勢を見ながら次の日の早朝に集合することにしましたが、その時点では人伝えの途切れ途切れの情報のためここまで被害が甚大になっているとはとても信じられませんでした。翌日、刻々と緊迫した情報が入る中、会議室に主だった職員が集合して自家発電の燃料は何日持つか、補液や薬の在庫は、緊急時の保存食は何日分あるか等、現状把握とこれからの対策は立

てますが、その後のガソリンが無い、食料品が無い、薬が入ってこない等、無い無いづくしの経験はまさに想定外そのものでした。

ましてや内陸でこのような状態では甚大な被害があった沿岸地域では言うに及びません。

各テレビ局では震災の特集を組み検証しています。百年に一度、千年に一度の、想定外の津波に対して自然を相手ではやはり限界があったんだろうと思いました。本当の悲しみや苦しみは津波に遭遇され被災された方、原発事故で避難を余儀なくされた方でないと分らないかも知れません。それでも各々が何か少しでも手助けできることを考えて行きましょう。

先日、盛岡市の自殺対策会議に出席し、被災された方に対する心のケアの継続性を実感して来ました。

今年度の自殺予防対策啓発事業の中に、地域における人と人とのつながりが希薄化している今、日頃から周囲とのつながりが重要であり、未曾有の大震災が発生し社会的に不安感が高まる中、「絆の再構築」と「お互いに声をかけあい、寄り添い、支え合う」ことが重要であることを伝える「つながる“わ”・ささえる“わ”プロジェクト」を実施するとあります。薬剤師もゲートキーパーとして気づき、声をかけ、話を聞いて、必要な支援につなげて行くことが大切だと考えます。

桜が咲き、夏の暑さが過ぎ、北上川の舟っこ流しや花火大会が終わり、盛岡の秋祭り（八幡さまの山車の運行）が始まろうとしています。あの雪が降りしきる震災の日から何度と無く、実家に足を運びました。変り果てた街並みに声も掛けられず、話す言葉に只々、うなずいていた記憶があります。帰る度にがれきは減り、一見片付いたように見えますが通りを見渡せばまだまだ復興とは程遠く感じます。この間の首相が所信表明を演説した時の野党のやじには少々怒りを感じました。政治家には今一番何が重要なのかを考えて頂き、復興に向けて進むことを願うばかりです。

「頑張れ岩手」「頑張れ東北」、

「ふるさとには負けない」

★★★ もくじ ★★★

巻頭言	薬連だより……………21
想定外 ～震災に想う～	最近の話題……………22
岩手県薬剤師会常務理事 四倉雄二… 1	東日本大震災……………23
医療安全のためのK Y T	質問に答えて……………33
盛岡病院医療安全係長 東 君江… 3	知っておきたい医薬用語 (49) ……35
第31回岩手薬学大会報告…………… 7	気になるサプリメント36……………36
受賞おめでとうございます…………… 8	リレーエッセイ……………37
会務報告…………… 8	話題のひろば……………38
理事会報告…………… 9	職場紹介……………41
委員会の動き……………10	会員の動き……………42
保険薬局部会から……………12	保険薬局の動き……………44
岩手県学校薬剤師会から……………14	求人情報……………45
薬物乱用防止啓発事業推進委員会から……………15	図書紹介……………46
支部の動き……………16	「生涯教育研修会」のご案内……………47
検査センターのページ……………19	編集後記……………48

東日本大震災で被災された会員への義援金募集について (第二次)

「被災された会員」にお見舞金を支給するための「義援金」を募集しております。引き続き、皆様のご協力をお願いいたします。

岩手県薬剤師会

【会員の被災状況 (概要)】 (平成23年8月31日現在)

会 員 : 死者4名、行方不明者2名
 会 員 の 住 居 : 全壊75、大規模半壊13、半壊11、一部損壊12
 薬 局 等 : 全壊48施設、半壊8施設

「被災された会員への義援金」募 集 要 領	
義援金の募集期間	平成23年10月31日(月)まで(第二次締切)
義援金の額	1口 3,000円(何口でも構いません) (恐れ入れますが、振込手数料をご負担願います)
募金送金先 (1) 郵便局利用	[振込用紙の通信欄に「被災会員への義援金」と記載してください。] 郵便預金口座：02260-3-45401 口座名義： <small>いわてけんやくざいしかい</small> 岩手県薬剤師会 <small>ぎえんきんぐち</small> 義援金口 ※同封の振込用紙をお使い下さい。
(2) 銀行振込	銀行口座 岩手銀行 中ノ橋支店 普通預金 2006655 口座名義： <small>いわてけんやくざいしかい</small> 岩手県薬剤師会 <small>ぎえんきんぐち</small> 義援金口
(3) 現金	直接、県薬事務局にお持ちいただいても結構です。

問い合わせ先 岩手県薬剤師会事務局 (〒020-0876 盛岡市馬場町3-12)
 電話 019-622-2467 FAX 019-653-2273
 E-メールアドレス ipalhead@rose.ocn.ne.jp

皆様から寄せられた義援金は、全国の薬剤師等からのご厚志と合わせて、被災された会員にお贈りいたします(被災状況については会員から提出された「罹災証明書」により確認しています)。

- ・ 第一次締切分の送金後の残金と10月末までにお寄せいただいた義援金を合わせて第二次として送金させていただきます。

医療安全のためのKYT

独立行政法人国立病院機構

盛岡病院医療安全係長 東 君 江

以下は2010年11月に『医療安全いわてフォーラム』で“看護師の立場から”発表した内容に加筆したものです。

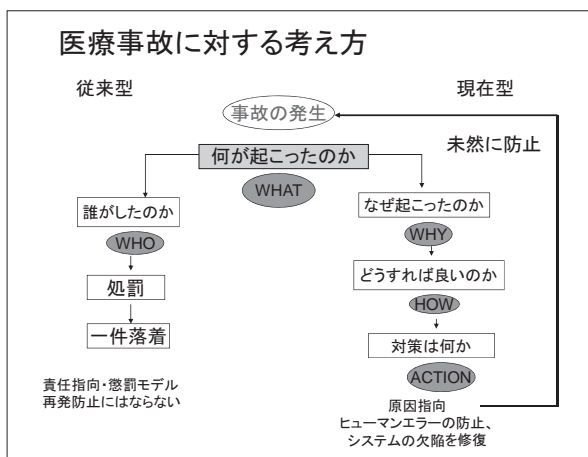
医療安全への取り組み

日本における医療安全の取り組みは、1999年の横浜市立大学医学部附属病院における患者取り違え手術により医療事故報道が増加し、患者権利の意識も高まると共に安全な医療を提供するための活動（リスクマネジメント）が必要になりました。

盛岡病院では患者・職員の安全な環境作りのため、平成21年度からKYT（危険予知訓練）を導入し、リスクマネジメントに必要な5S（整理・整頓・清潔・清掃・習慣）について改善が見られています。

医療事故の考え方

医療事故に対する従来の考え方は、“誰が起したのか”という責任型・懲罰型でしたがそれでは再発防止になりません。現在は“なぜ起こったのか”“どのようにすればよいのか”という原因指向型になっています。



医療安全に役立つ技法はいくつかありますが、危険予知の技法のひとつがKYTです。

医療安全に役立つ技法

1. 要因解析の技法・・・RCA
2. 危険予知の技法・・・KYT、リスク分析
FMEA
3. エラー防止の技法・・・エラープルーフ
4. 根拠に基づく改善の技法
・・・改善のステップ
5. 標準化の技法

KYTとは何か？

危険予知トレーニングの頭文字です。

危険→キケン→kiken→K

予知→ヨチ→yochi→Y

トレーニング→training→T

産業界で開発されたKYTを医療界でも活用できるように改変し、トレーニング内容も危険の多い医療現場を想定し組み立てられたものです。多くの病院が取り組み、効果があるとされている訓練です。

医療におけるKYTの重要性

工場生産→一定の条件下での活動

医療現場→常に変動する環境下での活動

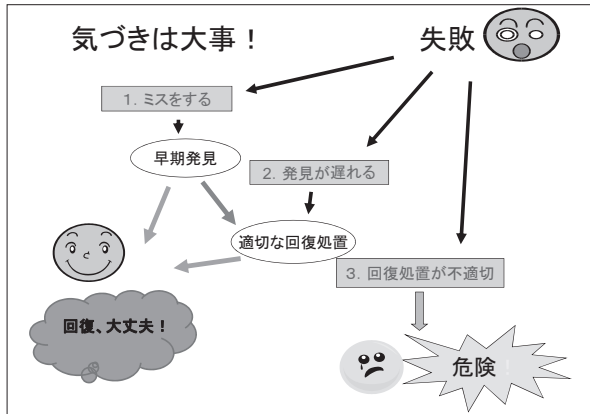
- KYT→患者さんの視線に立ち、患者さんの行動を予測しながら、危険要因の排除を促すための医療関係者の“頭切り替え訓練”
- まだ見えないものを見ようとする
- 患者さんが被るであろう危険を事前に見出すための感性、思考回路の切り替え
- その危険を排除するための判断行動・行動への変化を促す

事故防止の3つの対策

1. 応急対策→損失を大きくしないために再発防止に先駆けて行う対策。
2. 再発防止→原因分析に基づく原因を除去する。
3. 未然防止→予測と予防実施にともなって発生すると考える問題をあらかじめ洗い出して対策を講じておく。

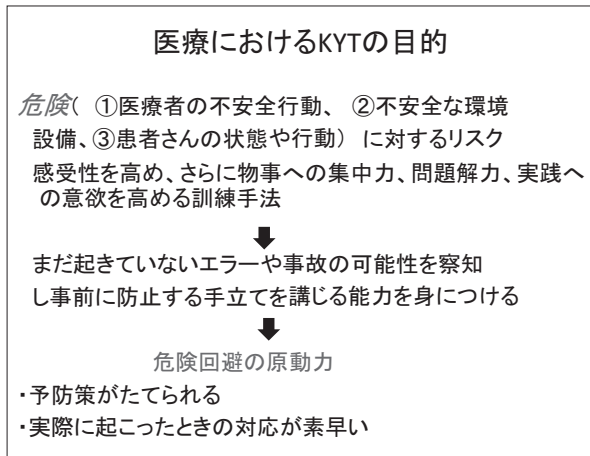
気づきは大切

予測するためには、危険に“気づく”ことが重要になります。失敗をしても、早期に気づき対応することで重大な事態を避けることができます。そこにある危険（見えない危険も含）に気づく、つまりKYTはリスク感性を高める訓練です。



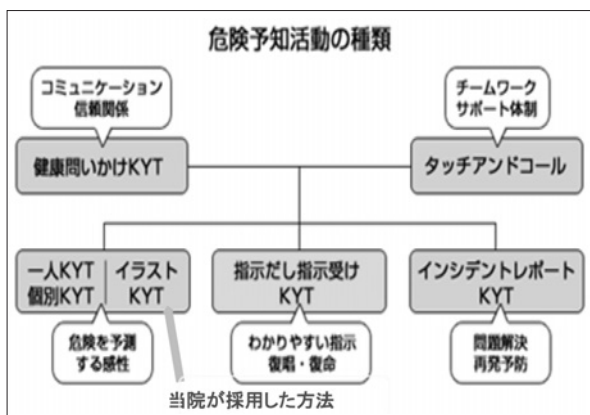
KYTの目的

個々の事例ごとの危険因子や対策を、学ぶことではなく、一人ひとりが様々な状態・状況の中に潜んでいる危険因子を察知しその防止策を立てられるようになることです。



危険予知の種類

いくつかありますが、当院が行っているのはイラストKYTです。



KYTの方法

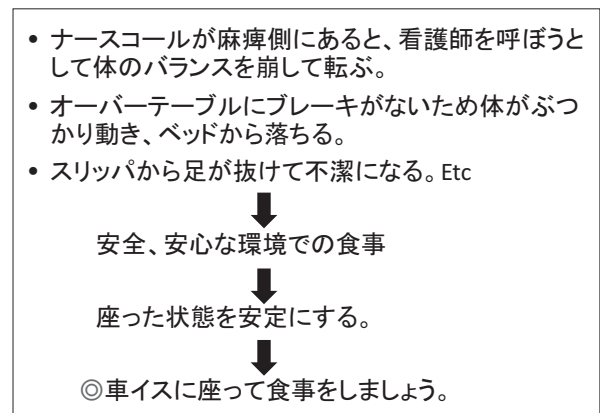
KYT基礎4ラウンド法	
	要領
第1ラウンド→現状把握 どんな危険が潜んでいる	KYTシートから危険要因を発見し、 要因と現象を発表し合う
第2ラウンド→ 本質追及 これが危険のポイント	項目から危険ポイントを絞る (危険な事態発生率など配慮する)
第3ラウンド →対策樹立 あなたならどうする	危険ポイントを解決するための具 体的な対策を出し合う
第4ラウンド→ 目標設定 私たちはこうする	重要実施項目を実施するために チーム行動目標を設定する

導入時は学習用のイラストでのKYTを行いました。学習用イラストを見て、そこに潜むリスクを見つけ出し対策をたてます。一見すると危険はない何気ない日常場面ですが、潜んでいる危険要因は何か話し合い対策を考えます。

KYT学習用イラストシート



検討の結果は以下のように、転倒するリスクを予測し、車いすに乗り食事をする予防策をとることが出来ます。



対策はいくつかあげられますが、患者の視線に立ち患者の行動を予測することが大切です。

当院では、日常業務の一場面を切り取った写真でのKYTを行いました。最初は「どこに危険が

あるかわからない」とか「きれいにしていると思っていたら、写真で見たら汚いのがわかった」等の意見がありました。各職場からの写真のKYTを続けるうちに、安全に対する視点、安全環境への意識向上が見られました。また、リスクマネジメントの基礎である5S（整理・整頓・清潔・清掃・習慣）の改善が見られるようになりました。

例1：KYT前（ミキサー食作成中）



KYT基礎4ラウンド法に則して、現状把握→本質追究→対策樹立→目標設定をしました。他の職場からは、「食事を作っているのに、台ふきんが置いてあって不潔だ（※環境整備はディスプレイタオルを使用していた）」とか「不要な物が多くあり、ミキサー食に混入する可能性がある」等の意見が出されました。当初、栄養士・調理師は「調理室での危険はない」「今まで業務に支障がなかった」と認識していましたが、他職場からの意見を取り入れ、不要な物を整理・整頓することで、安全・安心な食事を作る環境が出来ました。

KYT後



例2：KYT前（薬剤科入り口）



若干乱雑なだけで、なんら問題のない場面ですが、以下のような意見交換がありました。

- ・棚の上に空箱があり地震の時に落ちて職員がケガをする。
- ・机の上が乱雑で、書類を間違える可能性がある。
- ・張り紙が不揃いで見苦しい。等の意見が出されました。「これくらいの事・・・気にすることはない」「今まで大丈夫だったから大丈夫！」という声もありました。薬剤科は気づきを言葉にすることで危険を共通理解することができ、「安全な環境整備」を目標に環境作りを実践しました。

KYT後



5Sとは何か？

整理・整頓・清潔・清掃・習慣の頭文字のSをとって5S（ごえす）と言い、リスクマネジメントの基礎です。ごちゃごちゃした環境では、物を紛失しても気づかず、ましてや変な物が混入しても気づくことは困難です。しかし、整理されている環境ではいつもと違う事を「あれっおかしい」といち早く気づくことができます。

例3：KYT前の机



KYT後



一目瞭然な変化ですが、自分たちで指摘し合い環境整備するには至りませんでした。自分の職場の日常風景から写真をシートにすることで、客観的視点を持つことができ、他職場からの意見を取り入れ、より安全・安心な環境にすることができました。

例4：KYT前（検査科冷蔵庫の上）



地震や何かの震動で通りかかる人に落下する可能性があります。普段使わない物を棚にあげて忘れてしまい、結局使わずじまいのことは少なくありません。危険を見えるようにするのがポイントです。

KYT後



KYTの効果

KYTの効果

- KYTを繰り返し行うことによって、個々の事例ごとの危険要因や対策を学ぶと言うより「多くの危険が潜んでいることに、自分自身が気づくようになる」を教える。



気づきの訓練→「察知力」の向上

患者さんへの安心な医療の提供

医療安全は医療の質にかかわる重要な課題です。安全な医療の提供は医療の基本となるものであり、職員個人が医療安全の必要性・重要性を病院及び自分自身の課題と認識し、安全な医療の遂行を徹底することが重要です。病院全体の医療管理に関する事項は、複数の部門に関連している事が多く他部門との連携・調整が必要です。これからも部門を超えて“意見を出し合える”職場環境を整え、職員が一丸となって医療安全に取り組んでいきたいと考えています。



第31回岩手薬学大会報告

岩手医科大学附属病院薬剤部 工藤賢三
(岩手薬学大会実行委員長)

恒例の岩手薬学大会（大会長：高橋勝雄 岩手医科大学薬学部 教授・附属病院 薬剤部長）が去る平成23年9月3日（土）、エスポワールいわて（盛岡市）において開催されました。本大会は、岩手県における薬学・薬事の発展のために岩手県薬剤師会、岩手県病院薬剤師会、岩手県公務員薬剤師会など薬学・薬事関係者の学術発表の場が必要であるとの認識から昭和56年に第1回目を開催し、第31回となる現在まで年1回毎年継続して行われているものです。第1回から第13回までは水産会館において開催し、第14回からは今回の会場であるエスポワールいわてにおいて開催しております。本大会は、特別講演と研修講演（今回は教育講演）、一般演題発表から構成され、日本薬剤師研修センター3単位が付与される岩手県有数の研修会となっております。また、岩手県病院薬剤師会の認定研修会でもあります。大会当日は台風12号の影響による生憎の天気の中、開局薬剤師、病院薬剤師、卸勤務薬剤師、メーカー関係者など各方面から多数のご参加（約210名）をいただき、盛大に大会を開催することができました。

第31回大会は武田薬品工業(株)の清水隆之所長（盛岡営業所）の総合司会で進行されました。開会挨拶で高橋勝雄大会長は「本日、第31回大会を迎えることは薬学・薬事関係者の継続的努力の賜物と非常にうれしく、また、大会長として今大会を無事に開催できることを大変光栄に思っております。」と話され、薬剤師業務内容を反映し一般講演の内容も時代とともに変遷し今に至っていること、また本大会では各々の施設での業務や取り組みを公開し、互いに批評し合い情報を共有することで薬剤師の資質の向上を図ることが大切であると薬学大会開催の意義についてお話しされました。続いて一般演題に移りましたが、今回の演題は12題と幅広い分野からの発表となり、各発表に対し熱心な討議が行なわれました。

教育講演では、滝川康裕先生（岩手医科大学教授・内科学講座 消化器・肝臓内科分野）が「肝の働きと疾病：薬物との関わりについて」という演題で、肝臓の解剖生理や機能を肝疾患（薬剤性肝障害や肝炎）の発生機序から分かりやすくご講演いただきました。特に、薬剤性肝障害は薬剤に対する過敏症が原因であり、原因薬物の特定には薬歴が大変に重要であり、特に処方薬がジェネリッ

ク医薬品に替えられ薬が患者に渡っていることを考えると、いかに薬歴が重要であることを強調されておりました。この講演を通じて肝臓疾患治療における医師の考え、また薬剤師の重要性を理解することができました。

特別講演では、早狩誠先生（弘前大学医学部附属病院 教授・薬剤部長）に「くすりの専門家としての薬剤師：医療の安全における薬剤師の重要性」と題して講演をいただきました。近年の病院薬剤師の役割は、チーム医療の一員として、「くすりの専門家」である薬剤師の専門性を生かし、医療の安全を第一に、質の高い薬物療法に貢献することによって変わって来たとその変遷を紹介し、現在取り組むべき業務やその視点を実際の例を挙げながら講演いただきました。また、薬剤師はサイエンティストであり臨床現場で感じた「どうして?」「なぜ?」を研究テーマとして解決する努力が延いては患者への安全で有効な薬物療法に繋がることを認識することが必要であることをお話いただきました。臨床の現場のみならず東北の Opiniオンリーダーとして活躍される先生からお話しを聴くことができ、聴講者一同、大変感銘を受けた講演となりました。

最後に、実行委員長の工藤が閉会の挨拶を述べ無事に第31回大会が終了したことを報告しました。引き続き、同会館3階にて懇親会（約50名参加）が行われ、当日の発表の批評なども交えながら和気藹々の雰囲気の中、参加者は講師や演者らと遅くまで親睦を深めておりました。次回は、第32回大会（平成24年9月1日（土）開催予定）となります。皆様の更なるご協力とご参加をお願いいたします。



開会の挨拶をする高橋大会長



盛岡支部 宮手 義和 先生
 平成23年度日本薬剤師会 功労賞
 平成23年 8月27日



月日	曜	行事・用務等	場所	参加者
8月9日	火	支払基金岩手支部 幹事会・懇談会		会長
8月10日	水	第5回常務会		
8月11日	木	桜木辰治旭日双光章受賞祝賀会	ホテル紅葉館	会長
8月19日	金	東日本大震災復興祈念シンポジウム第2回打合せ会	宮城県薬剤師会館	熊谷、藤谷
8月20日	土	北東北がん医療コンソーシアムH23年度総会	アイーナ804	宮手
8月24日	水	気仙支部 研修会	大船渡病院	会長
8月25日	木	一般社団法人移行実行委員会	岩手県薬剤師会館	
8月26日	金	社保医療協議会岩手部会	東北厚生局岩手事務所	熊谷
8月27日	土	第77回日薬通常総会（～28日）	ホテルイースト21東京	会長、宮手、齊藤
8月30日	火	第5回保険薬局部会役員会	岩手県薬剤師会館	
8月31日	水	医薬品試験委員会	医薬品衛生検査センター	
9月1日	木	高橋洋介氏 告別式・法事	盛岡グランドホテル	会長
9月2日	金	復興支援委員会	岩手県薬剤師会館	
9月3日	土	岩手薬学大会	エスポワールいわて	
9月6日	火	社会保険診療報酬支払基金幹事長 来館・挨拶	岩手県薬剤師会館	会長
9月7日	水	ファックスコーナー職員ミーティング	内丸薬局	熊谷、藤谷
9月10日	土	東北薬剤師会連合大会（～11日）	秋田市	
		岩手県薬物乱用防止教室講座	都南文化会館	
9月14日	水	第6回常務会	岩手県薬剤師会館	
9月16日	金	編集委員会	岩手県薬剤師会館	
9月17日	土	第3回役員・支部長合同会議	岩手県薬剤師会館	
9月18日	日	第5回東北薬科大学主催認定実務実習指導薬剤師養成WS	東北薬科大学	
9月22日	木	社保医療協議会岩手部会	東北厚生局岩手事務所	熊谷
9月27日	火	第6回保険薬局部会役員会	岩手県薬剤師会館	
9月29日	木	東日本大震災復興祈念シンポジウム第3回打合せ会	江陽グランドホテル	熊谷、藤谷
		東日本大震災復興祈念シンポジウム パネリスト打合せ会	江陽グランドホテル	中田
9月30日	金	岩手県復興にむけた医療分野専門家会議	エスポワールいわて	会長
		岩手県復興にむけた医療分野専門家会議 懇親会	エスポワールいわて	会長



理事会報告



第5回常務理事会

日時：平成23年8月10日（水）19：00～21：30

場所：岩手県薬剤師会館

協議事項

- (1) 平成23年度各賞表彰候補者の推薦について
- (2) 平成23年度岩手県学校環境衛生優良校表彰について
- (3) 第62回東北薬剤師会連合大会について
- (4) 会計監査における指摘事項への各事業所の対応について
- (5) NaIシンチレーション・スペクトロメーターの購入について

- (4) 東北ブロック会議について
- (5) 東北六県薬剤師会社保担当者会議について
- (6) 第33回病院・薬局実務実習東北地区調整機構協議会について
- (7) 第3回岩手県復興にむけた医療分野専門家会議について
- (8) 非常時・災害対策委員会から
- (9) 復興支援委員会から
- (10) 薬物乱用防止啓発事業推進委員会から
- (11) アンチ・ドーピング委員会から
- (12) 災害救助法の費用弁償について
- (13) 震災支援御礼について
- (14) 「薬と健康の週間」における全国統一事業の実施について

報告事項

- (1) 会務報告と今後の予定について
- (2) 第2回都道府県会長協議会について
- (3) 第2回東北ブロック会長・日薬代議員合同会議について

第6回常務理事会

日時：平成23年9月14日（水）19：00～21：00

場所：岩手県薬剤師会館

協議事項

- (1) 被災会員への義援金および見舞金について
- (2) 平成23年度日薬会費賦課額の減免について
- (3) 東日本大震災復興祈念式典・シンポジウムについて
- (4) 製薬会社等からの情報提供の取り扱いについて
- (5) 薬学薬事関係者新年懇話会について

報告事項

- (1) 会務報告と今後の予定について
- (2) 第77回日薬通常総会について
- (3) 一般法人移行実行委員会から
- (4) 復興支援委員会から
- (5) 医薬品試験委員会から
- (6) 保険薬局部会から

第3回役員・支部長合同会議

日時：平成23年9月17日（土）14：00～16：00

場所：岩手県薬剤師会館

協議事項

- (1) 平成23年度「薬と健康の週間」事業について
- (2) 被災会員への義援金および見舞金について
- (3) 平成23年度日薬会費賦課額の減免について
- (4) 東日本大震災復興祈念式典・シンポジウムについて
- (5) 製薬会社等からの情報提供の取り扱いについて
- (6) 新規指定保険薬局の入会金について

- (2) 第77回日薬通常総会について
- (3) 岩手地方社会保険医療協議会について
- (4) 平成23年度支部等補助費について
- (5) 第62回東北薬剤師会連合大会並びに薬事衛生功労者について
- (6) 平成23年度薬物乱用防止教室講習会について
- (7) 非常時・災害対策委員会から
- (8) 健康いわて21推進委員会から
- (9) 医薬品試験委員会から
- (10) 保険薬局部会から

報告事項

- (1) 会務報告と今後の予定について



委員会の動き



医薬品試験委員会から

委員長 工藤賢三

薬剤師には、有効で安全な医薬品を国民に供給するという大切な義務があります。薬事法施行規則第十二条（および第百四十一条）には、「薬局開設者は、薬局の管理者が医薬品の適切な管理のために必要と認める医薬品の試験検査を、薬局の管理者に行わせなければならない。」と薬局や一般販売業における医薬品試験検査の実施義務を明記しております。医薬品は化学物質であり時間の経過とともにその品質に変化が生じることは避けられないことと考えます。そのため販売過程においても医薬品の品質を常に確認し、品質維持に努める必要があります。また、最近の後発医薬品の使用促進を我々薬剤師が担っている部分もあり、後発医薬品の品質維持や品質評価を行うことも薬剤師の大切な仕事と認識されております。

医薬品試験委員会では、このような薬剤師の義務を踏まえ、日本薬剤師会からの提案された試験品目や検査項目、岩手県内のこれまでの試験検査の実施状況、衛生検査センターの稼働状況、会員からの要望や意見などを参考とし、各年度に実施する試験対象医薬品、検査項目、実施要綱などを検討すること、および得られた試験検査結果の妥当性を協議することなどを主な活動としております。

平成22年度には、1)チザニジン塩酸塩製剤の溶

出試験、2)各薬局で分包した顆粒剤の重量偏差試験、3)OTC医薬品試験として点眼剤中のピリドキシン塩酸塩含量の確認試験、を実施いたしました。検査したサンプル（合計185件）において溶出試験（139件）や点眼剤含量試験（9件）においては異常な値は認めませんでした。しかしながら、重量偏差試験では37件中1件に不適合が認められました。これら試験の中で、重量偏差試験は、分包した散剤の品質や基本的調剤技術の確認・評価に繋がるものであります。会員各位におかれましては提出したサンプルの当該試験適合・不適合に拘わらず、患者さんのためにも調剤の正確性と調剤技術の向上に努めていただきたいと思います。委員会では会員薬局の調剤技術の評価に繋がるようなサンプルを検討中であります。平成23年度も同様に試験検査を実施いたします。会員各位には医薬品の品質維持や調剤技術の評価という試験検査の目的をご理解いただき試験検査への積極的な参加をお願いいたします。

昨年度から設備の揃った医薬品衛生検査センターでこれらの試験を実施いたしております。薬局開設者で検査センターと医薬品試験の契約をしていない薬局がありましたら是非契約を結んで頂き医薬品の品質確保や調剤技術の評価に利用して頂ければと思っております。

非常時・災害対策委員会から

委員長 畑澤昌美

3月11日に発生した東日本大震災のため被災地で奮闘する前委員長の中田義仁先生に変わり急遽、今年度から委員長をお引き受けしました。

震災直後に立ち上げた県薬剤師会災害対策本部が活動している中で、情報を共有し本委員会の活動を検討しました。

【災害に関する協定】

まだ自治体と協定を結んでいない支部や見直しを検討している支部の参考になるように、県薬が岩手県と取り交わした災害に関する協定を参考に内容に関して慎重に検討することにしました。

【東日本大震災義援金報告】

集計結果と保険薬局270件と個人会員8名から総額6,593,709円が集まったことをお知らせと感謝の店頭用ポスターを作成して、各保険薬局へFAXで送ると同時にホームページへ掲載することにした。

【岩手県非常時災害対策マニュアルの見直し】

来年3月に向けて準備をする。
今回の災害に対して他の委員会と協力して情報を収集する。
各支部での活動内容を記録したものや写真、動画などを支部でまとめて保管してもらい、マニュアル改正や記録誌の作成時など必要な時に提出してもらえるように依頼する。

【非常時の連絡方法】

今回の地震で直後に停電したために被害状況などの情報が入ってこなくなったことや今後起こりうる大規模停電などに備えて、早急に対応策を検討しなければならず、災害時優先電話やアマチュア無線など複数の通信手段。また電源などを確保する方法や連絡網の見直しを検討する。

【お薬手帳】

お薬手帳の大切さが証明されたことから、次回印刷時にデザインや内容等の検討をする。
啓発ポスターを新しくデザインして作成する。

【災害時活動用ベスト】

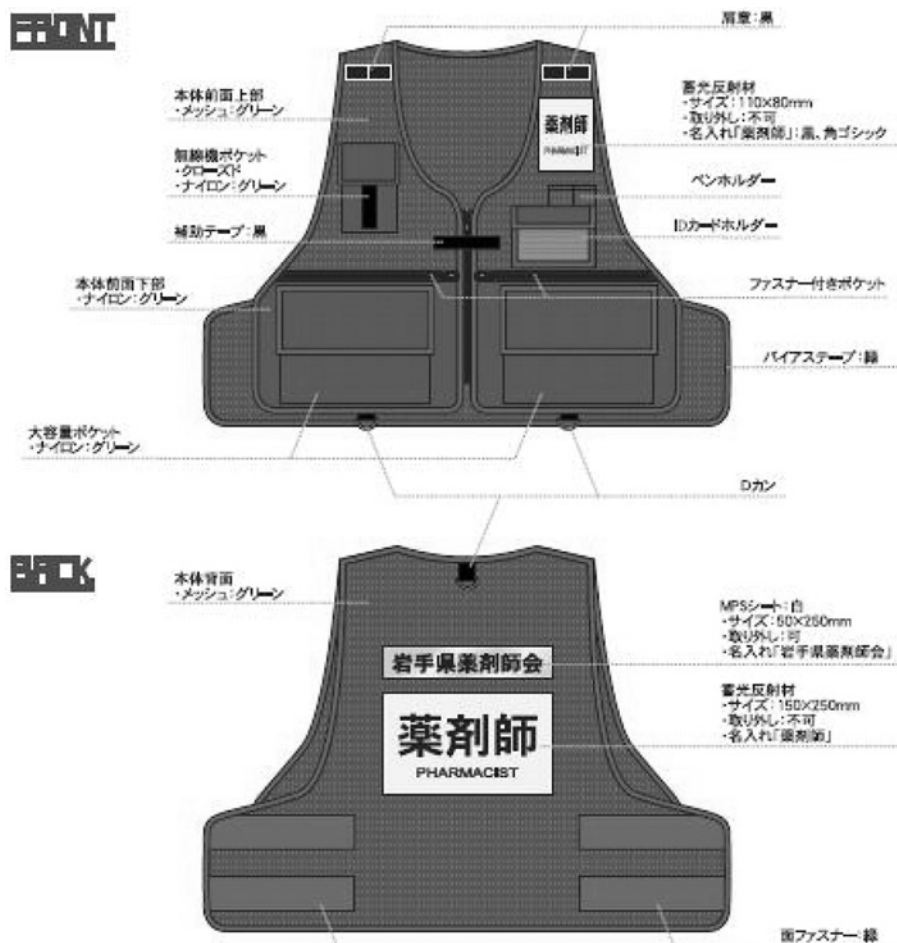
ボランティア活動などで着用するためのベストの購入について救護所や現地で「薬剤師」、「岩手県薬剤師会」とすぐ分かるような色やデザイン、年中使用できるようにメッシュ素材で防寒服の上からも着られるようにマジックテープなどでサイズを調節できるもの、また、各支部名や個人名のカードを入れられるように胸に透明プラスチックで中が見えるポケットを検討した。

【研修会】

今年度は本会主催の研修会開催を見送り来年度中に開催するように準備することにした。

【マグネットシール】

ボランティアなどで移動するときに車の前後に掲示するマグネットシール「岩手県薬剤師会」、「支援医薬品搬送中」などを作成する。





保険薬局部会から



「在宅療養推進アクションプラン」について

部会長 熊谷明知

現在、超高齢化社会に対応する医療・介護の体制として、住み慣れた地域の日常生活圏内（おおむね30分以内）において、医療・介護・予防・住まい・生活支援サービスが切れ目なく、有機的かつ一体的に提供される「地域包括ケアシステム」の整備が進んでいます。

その実現には、地域の医療・介護職種の連携による適切な医療・介護サービスが提供されることが必要です。

在宅での療養においては多くの場合、医薬品が使用されており、医師・看護師・ケアマネジャーなどの他職種から、薬剤師の参画を求める声が大きくなっています。

しかし、多くの薬局では「届け出は行っているが医師の訪問指示がない」という現状にあり、一方で他職種からは「訪問指導に対応できる薬局がわからない」という声が寄せられています。

このような相互のミスマッチが、地域において在宅療養を推進する上で大きな問題となっているようです。

日本薬剤師会では、こうしたミスマッチを解消し、より多くの薬局が在宅チームの一員として活動できるよう、「在宅療養推進アクションプラン」を策定しました。

アクションプランは、

- ① 地域支部における訪問薬剤管理指導業務の応需体制の整備
- ② 地域連携の促進（薬局機能・業務の理解促進）
- ③ 薬局・薬剤師のスキルアップ

の3つの点から、地域単位で在宅医療を推進するための環境を整備していこうというものです。

そして、特に①②を進めるための具体的な手順、行動のモデルとして提示するツールも作成されています。

これからの地域医療・介護サービス提供体制のあり方として地域包括ケアシステムの実現に向け

た取り組みが進められる中、これらの実施主体はまさに各地域（概ね地域支部薬剤師会を想定）であります。地域支部薬剤師会が、自ら地域の薬局の力と可能性を把握し、地域の中で他職種と顔の見える関係を構築していくことがアクションプランのねらいであります。

患者さんが外来から在宅療養に移られても、ずっとその方の「かかりつけ薬局」であり続けるために、在宅医療・地域におけるチーム医療への参加は必須であると言えます。

本会においてもアクションプランをきっかけに、多くの薬局が、かかりつけ薬局としての機能を着実に果たしていけるような地域の体制づくりを進めていただきたいと思います。

そこで、本年11月3日（木・祝）に開催する保険薬局研修会（次第別掲）において、詳細について紹介することとしておりますので、是非ご参加いただき当該事業についてご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

なお、震災の影響もあり、取組みが難しいという地域につきましては可能な範囲での検討をお願いします。

※ 日本薬剤師会HPに、「在宅療養推進アクションプラン」について関連資料と合わせて掲載されていますので是非ご覧ください。

日本薬剤師会HPトップページ

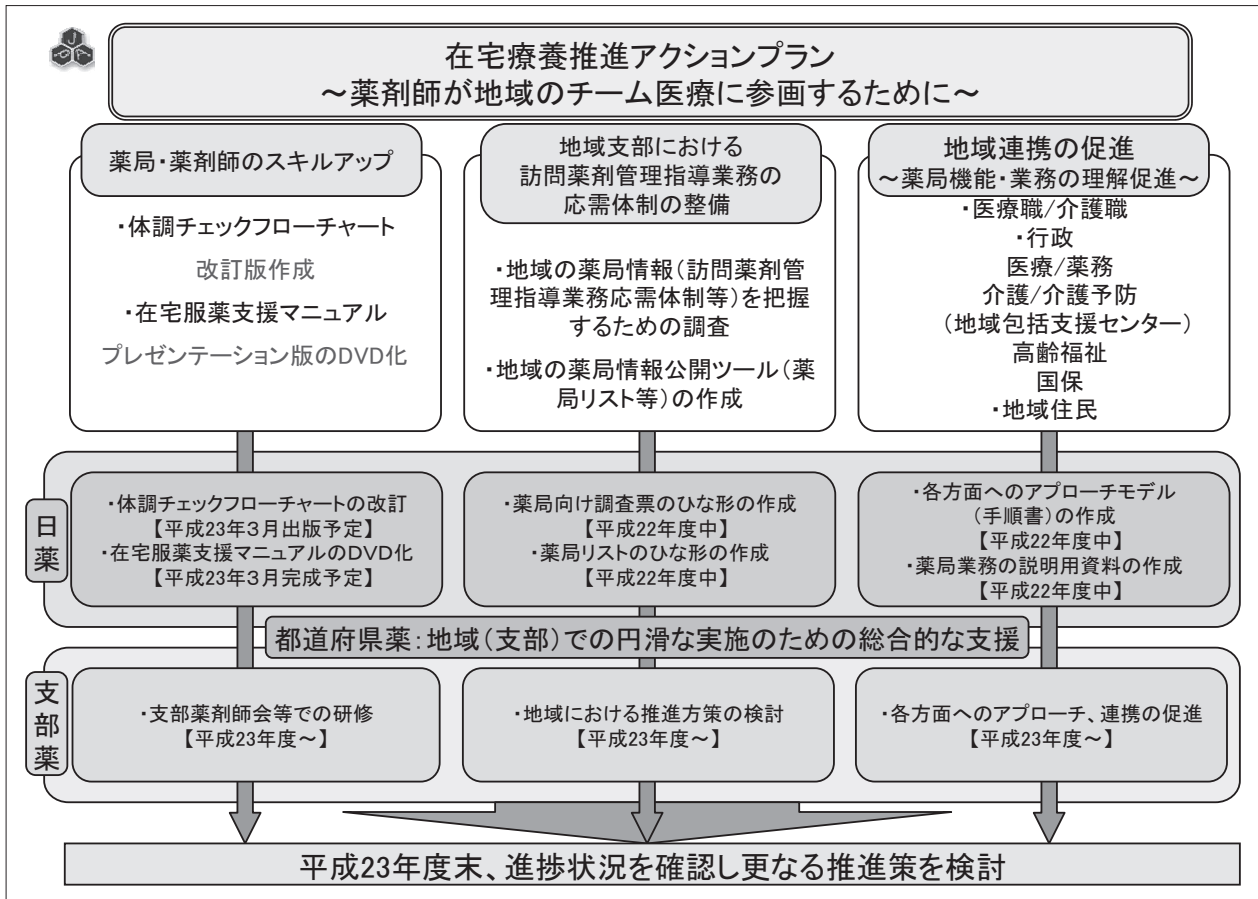
⇒日本薬剤師会の活動（会員向け）

⇒在宅医療・介護保険関連情報

⇒在宅療養推進アクションプランについて

○その他

薬局関連の様々な情報について、県薬HPに随時アップしておりますので、日薬HPと併せて、こまめにチェックしてみてください。



平成23年度第1回保険薬局研修会

日 時： 平成23年11月3日(木・祝) 13時～16時30分
 場 所： 盛岡市民文化ホール 大ホール(盛岡市盛岡駅西通2-9-1 TEL 019-621-5100)
 次 第：

1. あいさつ

岩手県薬剤師会会長

畑澤 博巳

2. 保険薬局の現況について

岩手県薬剤師会専務理事

岩手県薬剤師会保険薬局部会長

熊谷 明知

3. お薬手帳が役立つ災害医療

岩手県薬剤師会保険薬局部会幹事

岩手県薬剤師会非常時災害対策委員会委員

中田 義仁

4. 在宅療養推進アクションプランについて

日本薬剤師会常務理事

安部 好弘

5. 調剤報酬算定の解釈と留意点

岩手県薬剤師会副会長

岩手県国民健康保険診療報酬審査委員

大谷 道男



岩手県学校薬剤師会から

岩手県学校薬剤師会会長 宮手 義和

大会参加費：1名 8,000円（懇親会費を含む）

1. 日本学校薬剤師会東北ブロック会議が開催されました。

開催日：平成23年7月9日（土）

場 所：山形県上山市 日本の宿「古窯」

○議題

①日本学校薬剤師会の動向

②東日本大震災関連

岩手県、福島県、宮城県、青森県から被災状況等の報告があり、いまだ復旧途中であり、復興までにはまだまだ時間を要することを改めて確認した。

③協議事項

（ア）各県学校薬剤師会の取組みと活動報告

（イ）日本学校薬剤師会への要望及び提言

原発事故の際、安定ヨウ素剤を児童生徒等に速やかに服用させることが重要である。学校薬剤師としての対応をマニュアル化していただきたい（福島県）。

（ウ）日学薬賞の推薦県の決定（青森県）

（エ）次年度開催及び開催地の決定（秋田県）

（オ）その他

・学校薬剤師報酬改善について、秋田県で昨年度、具体的な内容を記載した陳情書を出し市議会で採択された。

・薬学生実務実習に対する指導体制について、各県からの現状報告があった（県薬主体、支部主体、担当者が学校薬剤師でない場合は学薬で担当など）。

2. 第61回 全国学校薬剤師大会が開催されます。

日 時：平成23年10月27日（木）

16：30～20：30

会 場：ホテルセンチュリー静岡

〒422-8575 静岡市駿河区南町18-1

TEL 054-284-0111

大 会 4階 クリスタルルーム

懇親会 5階 センチュリールーム

特別講演：「食から心身の健康を考える

ー地場産品を学び活用しようー」

講師 静岡県立大学学長 木苗 直秀氏

3. 平成23年度 学校環境衛生・薬事衛生研究協議会が開催されます。

日 時：平成23年11月24日（木）25日（金）

会 場：第1日目 長崎ブリックホール

（大ホール）

第2日目 部会別分科会 長崎ブリックホール

（国際会議場他）

特別講演：「薬物乱用を追う：そのリスクと予知・予防」

講師 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科教授
中島 憲一郎氏

講義Ⅰ：『「学校環境衛生基準」に基づく学校環境衛生活動の考え方・進め方』

講師 文部科学省スポーツ・青少年局学校健康教育課 健康教育企画室健康教育調査官
北垣 邦彦氏

講義Ⅱ：「スポーツにおける適正な薬物療法～社会全体で支えるアンチ・ドーピング活動～」

講師 北海道大学病院薬剤部 副薬剤部長
笠師 久美子氏

4. 平成23年度学校薬剤師研修会が開催されます。

テーマ「今後の学校薬剤師業務を考える」

主催：（社）日本薬剤師会、日本学校薬剤師会

共催：（財）日本薬剤師研修センター

1. 目 的：

(1) 医薬品等の適正使用啓発活動支援

1) 学習指導要領が改訂され、中学校学習指導要領の平成24年度全面施行に向けて、「くすりの正しい使い方」啓発資材等を活用し、学校薬剤師のくすり教育活動を広く支援を継続する（セルフメディケーションの考えに基づく、くすり教育授業（導入・流れ・実践等）のあり方、薬物乱用防止活動（タバコ等のゲートウェイドラッグ）、薬害を含む学校薬剤師活動の支援を継続する）。

2) 学校薬剤師業務の基本となる学校環境衛

生の維持・管理について、具体例と範囲を示し、学校薬剤師活動の支援を継続する(学校薬剤師2011(赤本)を活用し、新人研修のあり方、学校給食における衛生管理、消毒剤の正しい使い方等を含めた研修を行い、現場の学校薬剤師を支援する)。

3) スポーツ・ファーマシスト制度導入に伴う、学校薬剤師のドーピング防止活動の支援・広報を行う。

(2) 関係法規等の啓発および支援
現場で活動する学校薬剤師の対応や法解釈等への理解について支援を継続する。

(3) 学校薬剤師を巡る最近の話題への対応等
1) 薬学生の学校薬剤師活動に関する実務実習の支援への対応。
2) 災害時の学校薬剤師の対応等への支援・広報。
3) 将来ビジョン。
4) その他、放射能汚染等最新の話題への対応など。

2. 対象：主に学校薬剤師

3. 研修内容(講師は日本学校薬剤師会の講師バンクを活用予定)

- (1) 「学校環境衛生のあり方について」
- (2) 「学校薬剤師が行うくすり教育について」
- (3) 「学校薬剤師を巡る最近の話題等について」

4. 開催日時：平成23年11月27日(日)

5. 開始場所：東京都渋谷区神宮前5-53-1

こどもの城

(JR渋谷駅東口/宮益坂側より徒歩約10分)

6. 参加申し込み：日薬ホームページから事前登録(定員150名)

7. 受講料：研修会当日、会場受付にてお支払いください。

日薬・日学薬会員、研修センター賛助会員

・・・2,000円 [消費税込] (テキスト代含む)

非会員・・・3,000円 [消費税込] (テキスト代含む)

以上、最近開催されました学薬会議の報告と今後開催されます学薬関連の主な研修会を紹介いたします。研修会への積極的な参加を期待致します。



平成23年度 薬物乱用防止啓発講座講師研修会の開催について (予告)

今年度も標記研修会を開催いたします。詳細については、決まり次第、ホームページ等でお知らせいたします。

昨年度から薬学教育6年制課程における長期実務実習がスタートしたわけですが、薬局実習のカリキュラムに「麻薬・覚せい剤等薬物乱用防止運動における薬剤師の役割について説明できる。」という目標もあることから、学校薬剤師のみならず、実習生を受け入れている薬局の皆様にも薬物乱用防止啓発活動の理解を深めていただきたいと考えておりますので、お誘い合わせのうえ、ご参加いただきますようお願い申し上げます。

記

日時	平成23年12月3日(土)	14:30~17:30
場所	岩手県薬剤師会館3階研修室	
内容	(1)薬乱防止啓発活動の取組み	～花巻支部～
	(2)薬乱防止啓発活動の取組み	～北上支部～
	(3)薬物乱用の実態	



支部の動き



花巻支部

事務局次長 佐藤大峰

平成23年度は5月26日の総会をもって活動をスタートしました。3月11日の東日本大震災の影響も懸念されましたが、無事にスタートする事ができて胸を撫で下ろしています。総会では、特別講演として日高見中央クリニック糖尿病センター・健康増進センター長の瀬川郁夫先生をお招きし、「インクレチン関連薬で開かれた糖尿病治療薬の新パラダイム」と題して、講演をいただきました。また、来賓講演として岩手県薬剤師会専務理事である熊谷明知先生をお招きし、「保険薬局をとりまく話題」と題して、講演をいただきました。

しかし、触れなければならないのは東日本大震災です。熊谷先生の講演の中でも、地震が起きた後の県薬の動きなどを細かく話していただきました。花巻支部の薬剤師も地震後、数多くの方が被災地へのボランティア活動に協力していただきました。これも医療に携わる人間としてやらなければならないという気持ちがあったからだと思います。ボランティアに参加していただいた薬剤師の方に深く感謝いたします。これからも支援の手を継続していきたいと考えております。



熊谷 明知氏

開局薬局部会では、平成22年度には(合)どんぐり工房代表の菅野彊先生が4回シリーズでの研修会を行うという新たな試みにも挑戦しました。また、緩和ケア学習会を部会の研修会にすることで、数多くの薬剤師の方が参加できるような環境

にすることができました。今年度の目玉の一つとしては、7月29日に行われた研修会です。この研修会は、北海道薬科大学薬物治療学分野教授の早川達先生をお招きし、「次世代の薬剤師・薬歴管理のあり方 ～服薬指導から患者マネジメントへ～」と題して、講演をいただきました。6年制の薬学生がもうすぐ薬剤師として社会にでてくる日が近づいている中、現場の薬剤師の今後の薬歴管理をどうすれば良いのかを演習形式を交えながら行い、学生がどんな教育を受けているのかを知ることによってどう対応していけば良いのかなど、本当に貴重な講演だったと思います。まさに薬歴管理といえば「ご存知！早川達」といった研修会だったと思われま



早川 達先生

学校薬剤師会では、昨年度は薬物乱用教室等、数多くの活動を行っております。日々の業務の間をぬって活動するのは大変だと思われま

それでも、地域の人へ疾病予防や健康増進を促すには、欠かすことのできない活動だと思っています。さらに、今年度からは学校薬剤師ではない薬剤師でも研修会に参加できる体制を作り、より多くの薬剤師が地域の人たちへ協力ができるように活動できればと思っております。

二 戸 支 部

支部長 金 澤 悟

8月1日(月)に理事会開催

- ・学術：9月1日(木)二戸医師会学術講演会
二戸医師会・日本ペーリンガーインゲルハイム
9月15日(木)いわて県北学術大会
(大塚製薬と共催予定：認定申請)
10月中 二戸薬剤師会勉強会
(アステラスと共催)
講師：二戸医師会会長予定
- ・環境：水生生物調査
福岡小学校科学部と合同河川調査、福岡
小学校4年生の総合学習で河川の生物実
態調査を実施
- ・学薬：夏の環境検査実施
岩手県薬物乱用防止教室講習会参加案内
の確認(9月10日(土))
- ・保薬：県立一戸病院FAX運営について：県立
一戸病院の意向に沿った契約書締結
- ・三 師 会：8月20日(土)三師会交流野球大会
終了後ホテル村井で懇親会
- ・講演派遣：折爪大学、石切所健康クラブ、御返
地健康クラブ、社会福祉協議会

【協議事項】

- ・カシオペア糖尿病セミナー講師派遣
：10月2日(日)11：40～12：25
- ・カシオペア健康ラジオ講座収録薬剤師派遣
：知っておきたい薬の知識 10月3日放送(収
録は9月中に実施)
- *カシオペア糖尿病セミナー、健康ラジオ講座に
ついては学術担当に人選を依頼中で、外へ向け
て薬剤師業務のアピールが出来るいいチャンス
なので、若手薬剤師が担当して会自体に活気を
付けていきたい。
- ・にのへ健康フェスティバルへの参加：具体的日
程10月中旬に予定。社会福祉協議会や婦人会、
観光協会、老人クラブなど諸団体で「食」など
をテーマに健康について考えるイベントを開催。
二戸薬剤師会としては「薬と健康の週間事業」
として毎年実施しています。今後協議会での会
議を重ねて、薬剤師会担当責任者などを決めて
順次準備を進めていく予定です。
- ・会員交流バーベキュー祭
8月26日(金)雨天決行：ホテル村井駐車場

薬剤師会会員の交流が、病院や各保険薬局と別々
にならないように顔合わせを定期的に行うこと
で、今後の事業展開が活発になる行事として企
画了解されました。

- ・災害用活動メッシュベスト購入について、二戸
支部としては活動可能人数3名分を購入するこ
ととした。災害発生時に、複数薬剤師勤務先へ
支援応援依頼を積極的に行いたい。
- ・国保浄法寺診療所の院外処方せん発行について
二戸市から二戸薬剤師会へ相談。理事会では9
月を目途に応需希望者を募り、浄法寺地区の医
療貢献と在宅医療への支援を具体化できるか検
討する予定。二戸市は、国保財源が雫石町に次
いで2番目である一般会計予算からの組み込み
をすることで数年度は維持できる状態です。業
務改善の一環として、職員の業務の効率化が取
り上げられています。二戸市としても浄法寺診
療所としても、協力を頂けるということで、出
来る限り前向きな議論を行いたいと考えていま
す。

【東日本大震災。今思うこと】

二戸支部内では、年末年始の大雪で停電が長期
間続いた経験があり「自然の脅威」に何もできな
いことを痛感しました。そんな中で突然の震災。
今回は建物や道路などの崩壊などがなく、会員も
全員無事だったことが幸いでした。震災後、患者
さんへの薬剤投与期間を病院と相談する際には、
高速道路網が寸断されていたために投薬日数調整
に苦勞したことを思い出します。又、ガソリンが
入手困難で、岩手県薬剤師会への支援物資は断念
させて頂きました。

その代わりに、二戸薬剤師会は二戸市と「大規
模災害時における協定書」を締結しておりました
ので、二戸市長及び災害本部の皆さんと協議をし、
「救急セット」を60個提供させていただきました。
無償での消毒剤・マスクなどの提供の他、原価で
胃薬や風邪薬などを合わせて市役所へ持参させて
いただきました。

二戸市では、被災者の火葬で来られた方々へ救
急物資(医療物資)を「元気出して下さい」と手
渡しして頂いたそうです。そのほか山田・釜石地
区へお届け頂いたようです。私たち会員が出来る

ことは限られている上、一人薬剤師が多いので組織での対応は困難な地区です。しかし、昔から地域に根付いている店舗が多いので、一般薬品の提供に快く応じて頂いたことに感謝しております。

又、会として二戸市に対して3年から5年を目途に「義援金を拠出する」ことを総会で決めております。

少額ですが「どんなものに役だったのか」を知るには、市役所へ委ねるのが得策と考えたからです。

今後、二戸市役所や管轄行政から依頼があった場合、出来る限り積極的に協力していきたいと考えております。

一 関 支 部

支部長 関 俊 昭

当一関支部の総会は、東日本大震災の余燼冷めやらぬ中、6月10日に開催されました。

今年度の事業計画には第一に「災害復興と被災者に対する諸活動」を掲げ、そのモットーとして「企業の論理より医療の倫理」をうたいました。

当地区は先の「宮城・岩手内陸地震」の折、県薬はじめ各支部の方々から多大なご支援をいただいた事もあり、今回の未曾有の災害にあたっては「今度はこちらが恩返しすべき時」との決意によるものでした。

3月11日以来、当地区に避難されてきた被災者の方々への支援活動等はすでに続けられていましたが、沿岸の被災地への出動は全国のボランティアが帰り始める7月頃からがその時期になると考えていたので、当初は支部内の薬局・会員から義援金を募る事から始めました。

幸いにも多数の方の協力をいただき、ある程度の金額が集まりましたのでこれを宮古・釜石・気仙の各支部に送金させていただきました。些少ではありましたが各支部の再建に役立てて頂ければ幸いです。

7月となりいよいよ気仙地区へのボランティア派遣要請があり、これに参加を表明してくれた会員は31名、その他助手の方2名、実習生2名が加わり、17チームを編成する事が出来ました。

その参加者の中から、現地に不案内である事、どのような装備をしていったらいいか、作業内容はなにか等々の質問があったので、万全を期す為に準備会をもつ事になりました。

当支部の担当は7月最後の週となっていたので、これは体験談を聞くのが一番、と奥州支部の羽岡洋輔先生にお願いしているうち、気仙支部の金野先生からも来られるとの連絡が入りました。

連日の激務でお疲れの中、心苦しい思いでしたが、準備会でのお話は具体的で大変有意義なものとなりました。

両先生、御多忙の中誠にありがとうございました。

翌日は恒例のビア・パーティーでしたので、急遽ボランティア参加者の壮行会を兼ねる会とし、出席者80名の激励に送られての出動となりました。

現地に入って実際に目にした光景はやはり衝撃的でした。

見慣れているはずの小風景の激変ぶりにハンドルを持つ手も戸惑い気味になりながら行きついた次第です。

それから猛暑のなかでの活動となりましたが、各チーム何とか作業をこなしてくれたようです。その折、1名が仮設住宅廻りの間、犬に噛まれるという災難にあい、ヒヤリとしましたが大事にはいतरなかったようで、胸をなでおろしました。

今回の活動は、現地で頑張っている方々を見るにつけ、どれだけ役に立てたかおぼつかないのですが、今後とも支援の態勢は保持していく所存でおります。

当地には近々気仙沼から被災者の方々が300名ほど移られるという話がありますので、今回の体験がその時役立つのではないかと思います。

今後とも沿岸の支部の方々と手を携え復興の一助となりますよう頑張っていきたいと考えています。

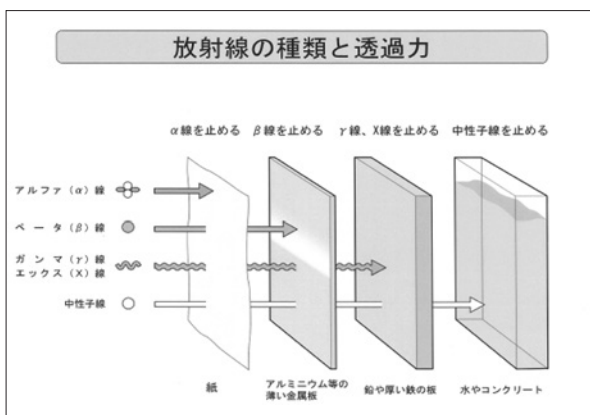
放射性物質の測定現場から

岩手県医薬品衛生検査センター 総務課長 坂川 敏 洋

1. 放射線、放射能、放射性物質

1) 放射線

「放射線」は物質を透過する光線に似たもので、アルファ (α) 線、ベータ (β) 線、ガンマ (γ) 線、エックス (X) 線、中性子線などがあります。X線と γ 線は電磁波で、 α 線、 β 線は電気をもった粒子線、中性子線は電気をもたない粒子線です。放射線は物質の中を通り抜けることができますが、この通り抜ける力は、放射線の種類とエネルギーの大きさにより異なります。



放射線の種類と透過力/資源エネルギー庁「原子力2010」

2) 放射能と放射性物質

上記の放射線を出す能力の事を「放射能」と言い、この能力を持った物質の事を「放射性物質」と言います。

2. 単位

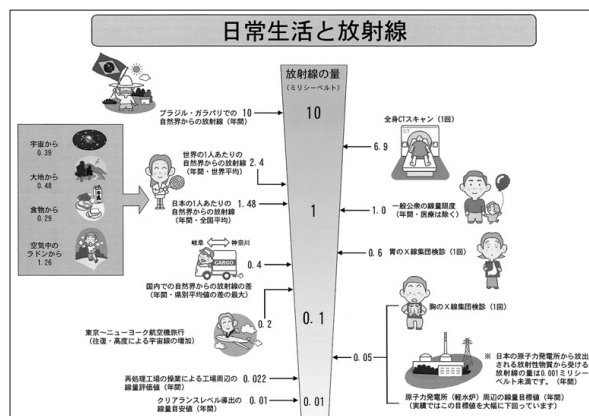
1) ベクレル (Bq)、シーベルト (Sv)、グレイ (Gy)

放射線は、ある特定の原子核が別の原子核に変化(壊変)する際に放出されます。1 Bq (ベクレル) は1秒間に1個の原子核が壊変して放射線を出す放射能の量です。数値が大きい程、より多くの原子核が壊変

し放射線を出すという事になります。ただし、放射性物質の種類によって放出される放射線の種類や強さは違いますので、人の体に与える影響の大きさが違うという事になります。人間が放射線を受けた場合の影響度を示す単位はSv (シーベルト) で表します。そして、放射線を受けた物質が吸収する放射線の量(吸収線量)を表す単位がグレイ (Gy) です。

2) 等価線量 (Sv) と実効線量 (Sv)

- ① 等価線量 = 吸収線量 × 放射線加重係数
放射線の種類によって被爆影響が異なることを考慮して被爆線量を表したもので、放射線加重係数は、 β 線及び γ 線が1、 α 線が20などとなっています。等価線量は放射線防護の目的に使用されます。
- ② 実効線量 = 等価線量 × 組織加重係数
放射線の人体への影響は、等価線量が同じでも臓器や組織によって異なることを評価したものです。



日常生活と放射線/資源エネルギー庁「原子力2010」

3. 原発事故により放出された放射性物質

原子力発電所は、ウランかプルトニウムの中

性子を衝突させて原子核分裂を起こすことにより得た膨大な熱エネルギーをもって水蒸気を発生させタービンを回し発電しています。原子炉内でウラン235が核分裂をすると、ヨウ素131、セシウム134、セシウム137、ストロンチウム90、コバルト60などが生成されます。ウラン235が核分裂しても何故か質量数は半分付近に分裂せず、質量数が95付近と140付近に分裂する傾向があります（核分裂収率）。

3月の福島第一原子力発電所事故によりこれらの放射性物質が環境中に放出されました。食品の放射性物質に関する暫定規制値は下図のとおりです。

放射性物質	食品衛生法(昭和22年法律第233号)の規定に基づく食品中の放射性物質に関する暫定規制値(Bq/kg)	
放射性ヨウ素 (混合核種の代表核種: ¹³¹ I)	飲料水 牛乳・乳製品	300
	野菜類(根菜、芋類を除く。) 魚介類	2,000
	飲料水 牛乳・乳製品	200
放射性セシウム	野菜類 穀類	500
	肉・卵・魚・その他	
	飲料水 牛乳・乳製品	20
ウラン	乳幼児用食品 飲料水	20
	牛乳・乳製品 野菜類 穀類	100
	肉・卵・魚・その他	
プルトニウム及び超ウラン元素 のアルファ核種 (²³⁸ Pu, ²³⁹ Pu, ²⁴⁰ Pu, ²⁴¹ Pu, ²⁴² Pu, ²⁴³ Am, ²⁴² Cm, ²⁴⁴ Cm, ²⁴⁴ Cm放射能濃度の合計)	乳幼児用食品 飲料水	1
	牛乳・乳製品 野菜類 穀類	10
	肉・卵・魚・その他	

注:100Bq/kgを超えるものは、乳児用調製粉乳及び直接飲用に供する乳に使用しないよう指導すること。

4. 放射性物質の測定方法

放射性物質の核種からのガンマ線は、それぞれに固有のエネルギーを持っているので、そのエネルギー分布を測定すれば放射性核種の種類がわかります。この分布測定は波高分析器（装置）により行われます。これを利用して、放射性核種を分析（核種分析）する一連の装置をガンマ線スペクトロメーターといいます。使用するガンマ線検出器の違いにより、ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメーター、NaI（Tl）シンチレーション検出器によるガンマ線スペクトロメーターがあります。

当所では現在2台のNaI（Tl）シンチレーション検出器によるガンマ線スペクトロメーターを保有し、フル稼働しています。また、10月にはゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメーターを導入する予定です。

検査センターの放射性物質検査実績は、7月は130件（7/19～31）、8月は550件でした。試料種類の傾向は、1.食肉、2.農作物、3.汚泥や肥料、4.水道水やプール水の順となっております。



5. 今後の放射能測定

本年の放射線及び食品や環境試料中の放射性物質の測定は、現実的な健康被害の恐れから、汚染の有無（或いは汚染の程度）を調べ、適切に管理・コントロールすることでこれ以上の健康被害（＝内部被曝及び外部被曝）を防ぐことが主要な目的であるといえます。

来年以降は、放射線量の変化のモニタリング、環境中の放射性物質の動態把握という視点からの放射能測定に徐々に移行していくものと思われます。

検査センターは、常にこの分野での役割を求め岩手県の環境や農林水産物の安全確認のため努力していきたいと考えています。

参考文献

- 1) 「食品と放射能」 消費者庁
- 2) 「放射能汚染によって起きる放射線被曝の基礎知識」 放射線影響研究所
- 3) 「やさしい放射線とアイソトープ」 日本アイソトープ協会



通常国会が閉会し野田内閣が発足

会期が70日間延長され、220日間にわたって審議が行われた通常国会が8月31日に閉会しました。与野党のみならず、多くの有識者から退陣を求められていた菅首相がやっと辞任しました。その指導力不足、場当たりの不適切発言などにより、西岡参議院議長にまで首相辞任を迫られるなど、東日本大震災の復旧・復興対策などの国政を大きく停滞させた原因となったものと考えています。辞任表明を受けて民主党は8月29日に代表選挙を行い、決選投票の結果、野田氏が海江田氏を破り新たな代表として選出され、翌30日の本会議において首相に指名されました。新たな首相の下で、遅れていた震災対策をはじめ、直面する経済・外交問題等の難題に、現政権がどのように取り組むのか注目したいと思います。

通常国会においては、厚生労働委員会が4回、予算委員会、決算委員会、財政金融委員会・厚生労働委員会・国土交通委員会連合審査会で、それぞれ1回の計7回質問に立つことができました。委員会における口頭による質問とは別に、書面により政府の見解を質す「質問主意書」を7件提出することもできました。質問主意書は、参議院議長あてに提出し、答弁書が内閣総理大臣から議長経由で返送されてきます。会期末を迎えた8月末に2件の質問主意書を提出しました。

一つは、医療用麻薬製剤に関するもので、①麻薬製剤の原料となる「あへん」の国から医薬品製造業者への売り渡し価格を引き下げるべきではないか、②保険薬局間の譲り渡し・譲り受けを一層容易にするため、譲渡しの許可条件の緩和など法改正も含めた施策を実施すべきではないか、の2点を質しました。①については、国内の医療用麻薬の安定供給の確保の観点等の要素を考慮しながら、必要に応じ見直しについて検討する、②につ

いては、本年7月1日に、保険薬局が同一市区町村内にある場合は、原則として許可することとする等の許可条件の明確化をしたことを示しつつ、今後とも麻薬が適切かつ円滑に患者に提供されるよう、適正な流通の確保に取り組む、との答弁となっています。

二つ目は、後発医薬品の保険薬局における在庫管理負担に関連して、①後発医薬品の薬価基準の価格帯が異なることへの考え方、一般名による薬価収載についての考え方はどうか、②すべての後発医薬品の販売名を、一般名方式となるよう指導すべきではないかなどを質しました。①については、実勢価格に応じた価格にしておき、薬価差を是正する観点からも銘柄別収載が適当であると中医協で決定している、②については、引き続き一般的名称を用いた販売名の普及に努める、との答弁を受け取りました。

麻薬製剤や後発医薬品の在庫管理の更なる効率化がなされるよう、今後とも国政の場を通じて活動し、地域医療において薬局がその機能を一層発揮できるような環境整備に努めたいと思います。

藤井基之ホームページ <http://mfujii.gr.jp/>



最近の話題



《会営事業所が実務実習をサポート！》

薬学生実務実習受入対策委員会 熊谷明知

今年度第Ⅰ期の実務実習が終了しました。岩手医大薬学部の実習が始まったことで、本県でも本格的な実習受入がスタートしたわけです。初めて学生を受け入れるという薬局も多く、様々な苦労があったことと思いますが、先日、岩手医大薬学部教員から、「(実習から戻ってきた)学生が一回り大きくなった感じがします」という話を聞くにあたり、受入施設の努力が実を結んでいることが大学側にも伝わっていることに敬意を表するところです。

本会では実務実習をサポートすべく、会営事業所において見学会・研修会を企画・実施しました。

検査センターでは、薬剤師会が行う試験検査業務の意義と概要の紹介および試験室・試験機器の見学を計4回実施し、32名の実習生が参加されました(イーハトーブ第25・26合併号参照のこと)。

情報センターでは、昨年度と同様の「地域住民に対する医薬品の適正使用の啓発活動における薬剤師の役割」というテーマに加えて、今回は先般の震災時の経験を踏まえて「緊急災害時における、当該薬局および薬剤師の役割」も盛り込み、下記のプログラムで計3回24名が参加して実施しました。

- (1) SGD
「薬局の防災対策」をみんなで考えよう!
- (2) 講義
・東日本大震災への岩手県薬剤師会の対応について
・情報センターの業務について(薬剤師会の説明を含めて)
- (3) SGD
「医薬品の適正使用に関する地域における薬剤師の活動」にはどのようなものがあるか?
- (4) 模擬講演会
事前に割り振りした内容について、1人5分ずつプレゼン。
- (5) SGD
「高齢者20人に講演するのに必要なことは？」
- (6) 講評・講義
「地域住民に対する医薬品の適正使用の啓発活動における薬剤師の役割」

SGDについては、大学で行っている学習手法であるため、各グループ、スムーズに進行し、事前に課題を与えていたとはいえ、活発な議論が行われ、出来上がったプロダクトもしっかり整理されたものとなっていました。

模擬講演会では、演者の緊張がこちらに伝わるぐらいなのに、それぞれがプレゼンに工夫を凝らし、つつい聞き入ってしまうほどでした。また、フィードバックも的確で、こちらが見習わなければと感じたところです。



(SGDの様子)

会営事業所で行う実習については、今後も続けていきたいと考えております。詳細については決まり次第、本会HPに掲載しますので、活用ください。

【実務実習関連情報】

- ・盛岡市夜間急患診療所の見学について
事前の申し込みが必要です。詳細については、盛岡薬剤師会事務局(TEL019-651-0700)にお問い合わせください。
- ・盛岡市学校薬剤師会研修会について
学校薬剤師業務を紹介する研修会を開催します(平成23年10月20日・平成24年2月16日)。詳細が決まり次第、本会HPに掲載します(問合せ先:本田0197-51-6046りんどう薬局)。



東日本大震災



今回は釜石支部の仮設薬局の現状について報告します。

おおぞら薬局

仮設薬局の現状について

地震発生時はとにかく揺れが大きく薬局内の被害は甚大でした。積み上げていたものはすべて床に落下し、機器関係は全てエラーメッセージが出ていました。揺れがおさまってから私たちの中にはまだ動揺がありましたが、防災無線で津波警報が出てからは、店舗内の片付けをする間もなく、各自のカバン、貴重品を持ち薬局近くの避難場所である薬師公園に避難しました。幸いにも地震発生時に薬局内には患者様がいませんでしたのでスタッフのみですぐに避難することができました。薬師公園に避難してから約30分、私たちは津波が来ているのをただ見ているだけしかできませんでした。津波が着た後もすぐには水が引かず、道路は水と瓦礫であふれていて、避難場所の公園から身動きが取れずその日は避難経路を伝い、避難場所の隣にあるのぞみ病院内の廊下で一晩を過ごしました。廊下は、公園、病院に避難した人たちが溢れていました。



< 3.11 震災当日の写真 >



< 3.12 震災翌日の写真 >

次の日の朝になり水が引いたのを確認し、また薬局の状況を確認し、それぞれが帰宅するために薬局前でスタッフ全員と一時解散をしました。翌日には、社内の他の店舗、本社との連絡を取るためにつくし薬局遠野店へ行き本社との連絡と無事の確認を取ることができました。週が変わり月曜日には釜石保健福祉センター内にある釜石ファミリークリニックで薬剤師も一緒に

救護活動を行っているという情報があり、救護活動に参加することになりました。この救護活動は、震災翌日（土曜日）からすでに始まっており、おおぞら薬局の管理薬剤師と事務スタッフが震災後も帰宅することなく手伝っていました。その現場は想像以上であり、津波によってお薬を流されてしまった患者様の数は多く、また各避難所からの薬の要請もあり、かなりの数の患者様がクリニックへ集中していました。また、使用できる薬品の数もかなり限定されていて、その限定されている薬品の中から今まで飲んでた薬に類似する薬品を先生方に情報提供をしていきました。先生方とやり取りをしている中で改めて認識したのはお薬手帳の有効性でした。お薬手帳があることで私たちが患者様へ薬の説明をする際の、患者様の理解度が違い、また先生方が薬品を選択するときも患者様との問診の中で色や形から飲んでた薬を判断していたので、お薬手帳の有無によって状況が全然違いました。当初は薬袋もなく、ビニールの袋にサインペンで名前を書き、その中に薬の名前、飲み方を書いたメモを入れてお渡ししていました。このような状態が約一週間休みなく続きました。

翌週の21日からは釜石保健福祉センター内の1室をお借りして仮設店舗がスタートしました。最初は薬をお渡しする投薬カウンターもなく、廊下で薬を待っている患者様のところへ薬を持参しお渡ししていました。しかしそれでは患者様への配慮が薄くなると思い、折りたたみの机とイスによる簡単な投薬カウンターを用意しました。これにより今までの震災直後の環境下ではただお薬をお渡しするだけになっていたことが、患者様一人一人と顔を見てお話ができるようになりました。5月に入ってから薬歴も再開でき、よりしっかりと内容で患者様とお話ができるようになりまし

た。この頃から患者様の笑顔も増えてきたように感じました。

同じようにこの頃から薬の管理にも苦労してきました。震災当時は数種類の薬品しか扱うことができなかったのですが、日が経つにつれ、薬品の流通が確保されるようになり仮設の店舗に移ってからは薬品の種類がかなり増えていきました。処方日数も元通りに戻ってきていることで、震災前の状況とあまり変わらなくなってきているのが現状です。

このような状況の中で、薬品を収納する立派な調剤棚はありませんが、市販のボックス棚や段ボール等を工夫して使い、調剤ミスを起こさないように同系統ごとに薬品を並べ整理しています。薬の整理・在庫管理にはこれからもまだまだ苦労しそ

うです。

これから新しい店舗での再開までの間は、しばらくはこの状況が続くと思います。その際には、いろいろな課題や問題など沢山出てくるかとは思いますが、店舗スタッフ全員で協力してその状況を乗り越え、患者様一人ひとりの為になることを目指し、より良い店舗になるように頑張りたいと思います。



つくし薬局大町店

3月11日午後2時46分、揺れを感じ、だんだん大きくなる揺れに恐怖を感じ、外に避難しました。電信柱が横に揺れ、道路が波のようにうねり、掴まった軽トラが激しく揺れ、立ってられないほどでした。その時患者さんは一名、薬は渡し終わっており、ちょうど通りがかったタクシーを止め、タクシーに乗せることができました。そのすぐ後私達はレセコンのバックアップとそれぞれのかばんと上着をもって、避難所となっている高台に車で避難しました。そこには近くの薬局さんの方々の姿もありました。何分もしないうちに、ほこりが立ち、ミシミシという音とともにゴーっと聞いたことのない音をたてあの大津波が町に襲いかかってきました。泣き叫ぶ声、逃げろという声。私達はその高台からただただ呆然と見ていることしかできませんでした。町はみるみるうちに火の海につつまれ、その高台からも避難をよぎなくされました。

雪がちらつく中、その日はほとんどのスタッフが野宿しました。

3月23日、わたし達が一番初めに避難したところでもある避難所で、救護所の隣に仮設薬局として始まりました。救護所には沖縄からドクターが一

週間交代で来町し診察していただきました。当初救護所は24時間体制でドクターがいてくださって、避難されている方にとってすごく安心なものでした。仮設薬局のため薬の数が少なく、処方された薬がない時もありました。しかしながら、ドクターとすぐ直接話せることで、在庫のある薬に変えていただいたことも多々あり、患者さんに素早く渡せることができました。仕事終わりには、ドクター、看護師さん、保健師さんとの合同ミーティングが毎日あり、救護所の現状の話はもちろん、避難所の食事、衛生問題、飲酒問題、心のケア、などの話し合いに参加させていただきました。

6月23日、すこし離れたところに仮設ですが、つくし薬局大町店が開局することができました。震災前と同じ門前の医院の隣です。16畳で、スタッフ5人に対しては少し狭い感じもありますが、また薬局として仕事ができることで、うれしさを実感しました。待合室の患者さんのスペースもあまりとれなかったため、お待たせすることなく薬を渡すように心がけています。今年は梅雨が短かったのですが、プレハブのため雨の日ははじめじめ感がすごかったり、気温の暑い日にはエアコンをかけてもなかなか効き目がいまひとつだったり、気温調節が難しい点があります。ここは避難所が近くに

あり、避難所にはエアコンがなく暑いので、冷感ベルトなどを買いに来る方が多くいらっしゃいます。また津波で町に泥水が流れたため、ハエが多く発生し、虫よけの需要も去年より多くなっています。患者さんにとって今何が必要なのか、限られたスペースにOTC、新聞、情報誌などを置いています。震災前にいつも来ていた患者さんが場所が変わってもまた処方箋を持ってきてくれることが何よりうれしいです。「みんな大丈夫だった?」「あの時すぐ逃げたの?」「がんばってね」「またよろしくね」など声をかけてくれる患者さんが多く、かえって私たちが勇気づけられました。少し

ずつでも、患者さんにとって利用しやすい薬局、わたし達にとっても仕事をしやすい環境にしていこうと思っております。



つくし薬局末広店

震災時、震災後のつくし薬局の状況

〈地震発生時の行動〉

3月11日、私たちは普通に調剤業務を行っていました。14時46分、今まで感じた事のない、大きく、そして長い揺れ。その直後に大津波警報が発令されたのですが、幸いにも来局していた患者さんがいませんでしたので、すぐに、向かいの大槌病院に逃げました。

大槌病院では、職員さんが総出で、入院患者さんの避難を開始していました。私達もそれに加わりました。黒い波が2階まで入ってきて、みんなで屋上に上がりました。そこでの光景は、以前の町の姿がなくなっていて、言葉にならないほどの衝撃でした。私達の薬局も流されていました。

〈震災発生～1週間の行動〉

地震があった日は、そのまま大槌病院で一晩過ごしました。

翌日からは、避難所回りをしました。

しかしその目的は、避難されている方の薬の状況把握ではなく、別れ別れになった、薬局スタッフの捜索でした。

行った避難所全てで、「つくし薬局さんですよ? お薬持っていないませんか?」や、「私がのんでいた薬の名前をわかりませんか?」と話かけられました。

話を詳しく聞くと、「着の身着のまま逃げてきて、薬を家に置いたまま流されてしまった…薬もない…お薬手帳もない…」このような方々ばかりでした。

しかし、大槌町の全ての薬局が全壊し、釜石や宮古に行く道路も寸断されていて、大槌には全く薬がない状況でした。

薬剤師は、薬が手に入らないと、何もできないと痛感しました。

私達にできたことは、①患者さんから、薬の特徴を聞いて、薬を推測すること。

②自衛隊の医療チームが、もう少しで大槌に入ってくるようなので、相談してみたとアドバイスすること。

③遠野に行けたら行って、病院や薬局で相談してみたと、お話することだけでした。

もし、薬が備蓄してあったら、内陸からいち早く薬が届いていたら…薬剤師はもっと避難者のお役に立てていたと思います。

実際必要だったのは、抗生剤や鎮痛剤のような急性疾患の薬ではなく、定期的にのんでいる慢性疾患の薬でした。

その後釜石方面や宮古方面の国道が開通し、釜石への薬の調達が可能になりました。

他市町村出身の薬剤師がほとんどのため、家族と連絡がとれた者から地元に戻りました。

仮設薬局の準備が整うまで、それぞれ地元に戻り、それぞれの故郷での避難所等でボランティアをしていました。

〈仮設薬局開始とその苦労〉

震災から10日くらい経過した後、中央公民館に仮

設の診療室ができました。その中に薬局を設置しました。

開局初日は、入荷した薬剤の整理をすることから始まりました。必要な薬は揃えるようにしていましたが、以前服用していた薬がほしいけど、在庫がなかったり、医師が使いたい薬が揃わない場合もありました。

その際、医師に相談して、規格違いや同効品に変更していただきました。

沖縄県医師会から派遣されて来た先生たちでしたが、薬の変更が多く、本当にご不便だったと思います。それでもいやな顔をせず、変更に応じて下さいました。

そして患者さん方も、この状況を理解してくれて、薬の変更に同意して下さいました。

医師と薬剤師と看護師、町の保健師さん方、そして患者様、みんなの連携があったからこそ、震災時の状況でも必要な医療が円滑に行うことができた、そんな環境でした。

〈仮設薬局で工夫したポイント〉

その後県立大槌病院の仮設病院が設置され、私達も大槌病院の前に移りました。

ここでの工夫は、薬店や商店がなくなった大槌の方々のお役に立てるように、OTCの品揃えを検討しました。被災地での夏では、虫が多く発生するだろうと考え、害虫対策グッズを多く置いています。

一番人気なのは、ハエ取り紙とバポナです。

また、仮設住宅での熱中症対策として、冷却グッズを置いているのも好評です。

他には、お薬BOXを無料で提供しています。ご自宅での薬の整理に、皆様使っていただいています。

以前店舗のあった所は、津波で丸ごと流されてしまいました。



今は、津波のこなかった場所で仮設の薬局で業務しています。



待合室と、窓から見える仮設の県立大槌病院



【OTCコーナー】

お買い物ができるお店もなくなってしまったため、必要なものをお買いいただけるよう、品揃えを検討しました。



【お薬BOX】

大好評のお薬整理BOX。待合室のテレビ台のところに置いてご自由に持って行っていただけるようにしました。つくし薬局オリジナルです！



開局間近の震災

大槌病院付近でもあり、大槌大野クリニック隣接の新薬局にて4月1日開局予定だったため準備と研修のため、社員とともに研鑽しておりました。

大きく長い地響きと揺れに、ただただ驚き全員の無事を確認し、次の判断を決意するのに時間がない事に戸惑いながら、大野先生、業者さん、薬局裏の大家さんに声をかけ、一番近いお寺さんに二名の社員と駆け上がりました。

川を遡る龍のような津波のあとに、一気に足元に押し寄せる黒い壁のような津波とガス爆発の衝撃に命の危険を感じ、道のない墓山を必死に駆け上がりました。

振り返れば、車で避難したはずの多くの人々が道路上で津波にのまれていくのを逃げてと叫びながら、ただただ傍観するだけで、何が起きているのか、理解できずに、つかまれるものには小枝にさえ掴まって急斜面を転びながら頂上まで走り続けました。

吉里吉里らふたあヒルズから再出発

避難所に3日いましたが、食料、水の不足と安否の連絡をつけるため、釜石に向けて、歩いて移動を決意し、心ある地元の方に先導を受け、釜石に向けて歩き始めました。何時間道なき道、地獄のような風景を歩いたのか？今では覚えてはいません。その方の釜石のご実家に一泊させていただいた翌日朝に遠野までタクシーで移動し遠野病院前で、やっと身内、会社に連絡をとりました。

盛岡に戻り、テレビで見る言葉にならない悲惨な光景に、なんとかせねばと思い始めた時、大槌で再度大野先生が仮設にて開院するとお聞きして、ハーブ薬局もまた立ち上がる決心をして、吉里吉里にある特別養護老人施設らふたあヒルズをお借りして4月より開局することになりました。

寒さが厳しく、灯油も買えず、ガソリンもなく、衣服もありませんでしたが施設の一部をお借りできたのでまだ恵まれていたと思います。

まだ電気は通じていみせんでしたが幸い施設は自家発電の設備がありましたので同地区の特別養護老人施設二か所の100名位の患者様の一包化調剤などに応えることができました。外来患者様の

調剤では薬の供給が充分でなかったため不足薬の配達もありました。スタッフのほとんどが地元のものでないため目標物が消失した被災地で苦勞しました。

6月からは吉里吉里地区の避難所における日赤医師団による災害処方箋の応需と避難所への配達も加わりとても多忙な日々でした。

7月11日患者様の通院の便などを思い、大野先生が移転をお決めになった事に伴い、ハーブ薬局も地元へ根づくよう、高台のらふたあヒルズより現在の場所へ移転する事になりました。交通手段のない患者様や近隣の患者様の処方箋を応需し吉里吉里地区に唯一の薬局として根付くために努力しています。

震災から今までをふりかえって

経験したことのない震災と犠牲を背負いながらも、立ち上がろうとみんなが苦しい中、少しずつ前向きになろうとしている姿、また、不自由な中で助け合おうとする姿が今も辛い環境の中で印象に残っています。

大変な事と覚悟してはいても、住む場所、水道やお風呂、食材がなかった事で苦勞しました。今でもスタッフみんなプレハブでの共同生活です。お風呂は今もありません。よく自衛隊のお風呂や避難施設のシャワーなどを利用させていただきました。

おもしろい事に無いところから工夫や知恵が生まれるものだと、この半年の苦闘を振り返ると感心して苦笑しています。



はまゆり調剤薬局

三浦由美

3月11日午後2時46分地震発生

始め余り大きくなかった揺れがしだいに大きくなり調剤室の棚の上の薬の箱が床に落ち始めた。

揺れが長いので外に出ると、信号機は止まり電柱が大きく揺れ5階建ての私が住んでいるビルは震幅を大きくして揺れていた。今まで経験のない大きさと長さにとまどい呆然とした。防災無線で“大津波”と放送される。“大津波までは津波はこない”と思っていたが一応薬師公園に避難することにし、レセコンをシャットダウンしようとしたがすでに切れない状態だった。社員にはコートとハンドバックを持って薬師公園に避難するよう話し、シャッターを閉め、皆で薬師公園に登った。途中“早く上へ”と言われ、海の方を見ると土煙が見え、津波が押し寄せるのが見えた。3時半には店は水没していた。



<避難所より撮影、後方に土煙>



<壊滅した店舗>

警報が解除された後、隣接する保健福祉センターに移る。福祉センターも1階は水没し、自家発電は機能していなかった。真っ暗な中携帯電話のあかりをたよりに3階の診療部門があるフロアに降りると、市の災害対策室、病院、各クリニックのスタッフの方々が忙しく対応に追われていて、我々もお手伝いを始めた。

センターの前で引き上げられた人々、けがをした方々etc.

我々のスタッフは2名の安否が不明だった。

その時の記憶はあまり残っていない。

しばらくして水は引いたようだったが、真っ暗な為何も見えず、センターに留まるしかなかった。その夜の空は星がすばらしくきれいだった。

震災翌日早朝よりいろいろな情報が入り始める。

スタッフの1人が患家で地震に遭い帰る途中、津波が見えたので山の方へ逃げ、明るくなるのを待って山越えて戻ってきた。安堵!!

もう1人は、定内への配達だったので津波は大丈夫と思っていたが高齢なので心配していた。3日後に元気であると判明。スタッフ全員無事だった。

センター前のがれきが、人が通れるほどにかたづけられ、消防団の方が各避難所から、お薬手帳、残薬、メモなどを持って来始めた。薬剤、消耗品が不足しはじめる。卸さんも車で街へは入ってこられない為、徒歩での搬入だった。り災している卸さんもあった。

13日(日)宮古から通勤している薬剤師の家族が、心配して盛岡経由で訪ねて来た。外部への連絡がとれない状況であったので系列の滝沢、水沢の店へ薬品の調達をお願いした。インスリン、センサー、etc.盛岡の卸さんにも助けて戴いた。

日が経つにつれ薬品の流通も良くなって来たが依然として電気はなく、Dr.の車から引いたスタンドのあかりだけがたよりの診療、調剤だった。

19日待望の携帯電話が使えるようになる。センター内の電気も復旧出来たようだった。

薬局の仮設開局の話が出る。他薬局のメンバーと共にお手伝いしていたが、保健所では、あくま

で仮設なので協同経営では許可できないとのこと、急ぎよ2つの店舗で別々に仮設設置することになる。

20日、スタッフを招集、保健福祉センター3階ロビーに5坪弱の薬局を設置。待合はロビーを使用させて頂くことに。

22日、分包機etc.機器類、薬品を搬入、そのまま仮設開局となる。

目の前のことを対処するだけの毎日であった。二度と経験したくないことだが、常より、想定しながら考え備えておかなければと思う。

一日も早く、元の場所に戻って、また患者さんと話をしながら、街の“くすりや”さんとして再

開出来ればと願っている。

仮設開局にあたり、センター職員、病院、各クリニックのDr.職員の方々にご尽力戴いたことを感謝しています。



<現在の仮設薬局>

リリーフ薬局

東日本大震災による大地震発生時、釜石市鶴住居町のリリーフ薬局におりました打越と申します。当薬局が津波で受けた被害、震災時の行動、そして仮設薬局での現状と今後などについてご報告いたします。

平成23年3月11日の東日本大震災の大津波により、釜石市鶴住居町にあったリリーフ薬局は店舗ごと流失し、その跡地には建物の基礎のみが残るという無残なものとなりました。また、鶴住居全域も同様に津波による壊滅的な被害を受け、ほぼすべての住宅、店舗、施設などが無くなるという、つまり街全体が一瞬にして消滅するという事態に陥ったのです。

地震直後、薬局スタッフはそれぞれ自主避難しました。翌日からの数日間、薬剤師スタッフ4人は、それぞれ避難所を回り薬剤使用状況を確認したり、要介護者の搬送を手伝うなど、各自の判断で必要と思われる行動をとっていました。震災から5日後にスタッフ全員の無事が確認でき、安堵したのを昨日のように覚えています。

その後は隣で開業されていた浜登医師に同行して、釜石市内の主だった避難所、山田、大槌町の孤立避難所を中心に、約二週間、配薬、服薬指導を行いました。一段落ついたというわけではありませんでしたが、孤立避難所の配薬がある程度落ち着いたことを皮切りに、次のステップであるク

打越 光

リニック、薬局再開に向け動き出しました。

その後、浜登医師は迅速に行動し、震災から11日後の3月22日に鶴住居から10Kmほど離れた中妻町でクリニックを再開させました。クリニックでは患者情報をすべて失っていましたが、幸いにも我々が避難する際、患者さんの処方歴、薬歴などの一部をUSBメモリに残して持ち出しており、診察の際のヒントとすることができました。そのため、しばらくはその情報を医師に伝えることと並行して院内薬局を手伝うことにしました。しかし、限られた院内薬局では薬品の在庫スペースがなく、使用薬剤の制限が余儀なくされます。

薬局オープンについては店舗建設が必要となりましたが、速やかに手配した結果、10坪程度のプレハブ構造の仮設店舗を約10日で完成させ、クリニック再開の約一ヶ月後の4月20日より再開させることができました。

しかし、この震災下、プレハブでの再開にはさまざまな問題がありました。プレハブ建設にあたり、資材不足と大工さんの人員確保が困難なことにより工期が曖昧だったこと、そして実際の業務においては、調剤備品、事務用品などの納期が未定であったことなどが再開の大きな障壁となっていました。しかしそんな中、各業者の方々が迅速に対応してくださったのは何よりの支援でした。

再開後は多くの患者さんがお亡くなりになった

ことを知り、スタッフ共々悲しみに暮れていましたが、一人ひとりの患者さんの無事を確認するたび、薬局内が少しだけ明るくなっていました。そしてまた、何より嬉しいのが患者さんからのがんばれの声や温かいお言葉でした。恥ずかしながら、投薬中にもかかわらず、涙をこらえられない場面が何度もありました。

今回の薬局の被災により、岩手県薬剤師会畑澤会長や岩手県病院薬剤師会の工藤会長をはじめとする各関係者、そして避難所に共に出向いた大阪府薬剤師会の先生方、各製薬会社、卸の方々、その他多くの方々からご支援を頂きました。心より感謝申し上げます。

今後は鶴住居への移転を予定しており、現在そ

れに向けて準備しているところです。これからも課題は山積みですが、何とかそれを乗り越え、今まで以上に患者さんの気持ちをくんだ、安心感を提供できるような薬局づくりを目指していこうと思っています。

最後に、今回の震災で被災にあわれた方々に心よりお見舞い、ご冥福をお祈りいたします。



菊屋薬局

仮設薬局の現状

3. 11大震災発生

突然経験したことのない大きな揺れに襲われ歩くのも困難でした。従業員、家族とともに裏山を上がり中央公民館に避難し津波を見ました。表現できない程凄まじいものであり町は壊滅、町内の医療機関、薬局も例外ではありませんでした。



<震災後店舗写真>

寒い日で雪が降り震災後の火災で町は燃え火の粉も降り避難所は多くの人々が避難していて毛布も少なく施設のカーテンを切り裂き身にまとったりし寒さに震え、大きな余震も続き不安な一夜を過ごしました。翌日七分づきのおにぎりが一個支給され久しぶりの食事をゆっくりゆっくりと味わいましたその美味しさは今でも忘れられません。

佐竹尚司

避難所の救護所では災害医療チームが派遣されるまで、避難していた町内の三名の開業医の先生方が看護師さん保健婦さんとともに搬送される救急患者や避難所内の急病患者の対応に追われていました。

自分も小児の水剤などの調剤担当で控えていましたが出番はありませんでした。

その後、支援物資の運搬や人探しで避難所を訪れる人の対応などボランティアしながら過ごしました。避難所で大きな問題の一つがトイレでした。水道が止まり流せず当初は不衛生でした。ルールも何度か変わり排泄物を袋に入れ汚物としてゴミ集積所へ運ぶ方式がしばらく続きました。

又普段のんでいる薬がなく困っている人も多く薬が必要な人の調査票が作成されることになりお手伝いしました。中にはデュロテップパッチが切れそうになっている人もいました。普段飲んでいる薬の名前を覚えていない人も多く何の薬、剤型、色など記入し、震災時、薬手帳の重要性を痛感しました。

四月からは釜石薬剤師会で災害対策に奔走されていた中田義仁先生のご厚意により釜石薬剤師会災害対策本部となっていた中田薬局小佐野店にやっかいになりました。震災後近隣から釜石の医療機関を受診する患者さんも増え、救護所の災害処方

箋もあり、そのうえ夕方からは避難所を巡回する医療チームの処方箋の対応と大変な状況で、スタッフの皆さんは大阪薬剤師会のボランティアの方々と毎日夜遅くまで奮闘していました。大槌の避難所の処方箋も多く、知っている人の名前を見ては無事を喜びました。スタッフの皆様には大変お世話になりました。あまりお役にたてなかったですが、とにかくいそがしく、よく腹がすきました。毎日支給されるお弁当がおいしく楽しみのひとつでした。

仮設薬局

五月六日、藤井小児科内科クリニックの藤井先生が大槌町花輪田地区に仮設診療所を立ち上げることにになり同地区で六坪のプレハブで仮設薬局を始めました。震災で店舗設備など失っていたためゼロからというよりマイナスからのスタートでした。準備では、仕切りにはマグネットフックでバスカーテンを吊るし、叔父から提供されたついたてを用い、会議用テーブルに木製棚にバスケットを組み合わせ調剤棚の代用とするなど低予算で取り揃え、県薬剤師会からは薬袋、お薬手帳などを提供していただき、本当に多くの方からご支援いただき大変感謝しています。

電気が通じるまで発電機を使っていましたがうっかり燃料切れを起こし電気が消えたことも。又治安の不安もあったため薬、レセコンは毎日釜石の借家まで持ち帰っていました。薬の在庫も充分でなく救護所や釜石の医療機関からの処方箋を持っ

てこられた患者さんにはご不便をおかけしました。

六月に入り町内の避難所を巡回する日赤医療チームの処方箋を調剤し配達することになり安渡小、安渡寺、寺野弓道場とほんの一部でしたが担当させていただきました。長い避難所生活にもかかわらず明るくたくましく生きている方も多く逆に元気づけられました。

小児科の患者の子供の多くは震災で家を失っていました。少しでも元気になって欲しいと心ある知人が絵本や子供服を何度も薬局へ届けてくれました。大変よろこんでくれて、その笑顔に励まされました。

八月に入りほとんどの人が避難所から仮設住宅へと移りましたが通院に時間がかかって困ると訴える患者さんも多くいます。震災前のなんてことのない普通の暮らしを取り戻したいとみんな願っています。解決するまでにはまだまだ時間がかかるとは思いますがこの町で生活する人たちの少しでも役にたてるようがんばります。



道又薬局

道 又 利 一

悲しい事もあるだろサ 苦しい事もあるだろサ
 だけど僕らはくじけない 泣くのはいやだ
 笑っちゃおう すすめー

小曾根真さん（ジャズピアニスト）の編曲された井上ひさしさんの楽曲が毎日お昼に防災無線から流れ、私たちを励ましてくれている。



ひょっこりひょうたん島のモデル（蓬菜島）

質問に答えて

Q. 外用薬の適切な使い方について

〔はじめに〕

外用療法では疾患を的確に診断し、最適な皮膚外用薬を選択することが大切である。皮膚外用薬の選択では薬物だけでなく、剤形や基剤を考慮する必要がある。しかしながら、軟膏剤やクリームをはじめとした皮膚外用薬は医療従事者にも『塗り薬』程度にしか考えられていない場合が多く、服薬説明も十分に行われていない場合が多いのが現状である。皮膚外用薬は『塗り方』だけでも経皮吸収性や効果に大きく影響を与えることがあるため、十分な知識をもって患者さんに説明する必要がある。

〔水溶性基剤or油脂性基剤〕

外用薬を混合する際は基剤の性質の近いもの同士を選択することが原則である。表1に基剤同士の混合の可否について示す。混合によく用いられているザーネ[®]軟膏、ユベラ[®]軟膏、レスタミン[®]クリーム、オイラックス[®]クリームなどはO/W型（水中油型）とよばれる乳剤性基剤で水溶性基剤をベースにしている。そのため、ステロイド軟膏などの油脂性基剤との混合では乳化の破壊が起こり、主剤のステロイドの透過性は半減する。乳化の破壊は、肉眼ではなかなか識別できず、顕微鏡

下での観察により明らかとなる¹⁾が、このような微細な破壊でも外用薬の効果は低下し、さらには、分離した水層には防腐剤が移行しないため細菌汚染が生じるリスクも高まる。混合調製した外用薬を壺で処方し、1日2回指をさし入れる実験では冷蔵庫保存で約半数、室温保存では全例に細菌汚染が検出された²⁾。

これに反し、水層の分離を生じないW/O型（油中水型）乳剤性基剤での混合では、細菌汚染のリスクは少なく、混合により、相加・相乗効果が期待できる場合もある。臨床で用いられる外用薬でW/O型のは少なく（表2）、多くはO/W型であり混合には適していない。

表1 基剤同士の混合の可否

	油脂性	水溶性	O/W型	W/O型	ゲル
油脂性	○	×	×	△	×
水溶性	×	○	△	×	×
O/W型	×	△	△	×	×
W/O型	△	×	×	△	×
ゲル	×	×	×	×	×

○：可能，△：組み合わせによっては可能，×：不可
混合は基剤の性質の近いもの同士を選択する。ゲル基剤は塩や界面活性剤の添加などにより相分離を起こし粘度が低下するため混合しない。

表2 剤形の基剤による分類とその特徴

基剤の種類	成り立ち	長所	短所	代表例
軟膏	油脂性基剤 ワセリンを主とする	①皮膚保護作用がある ②肉芽形成を助ける ③皮膚柔軟作用がある ④安全性、安定性が高い	①べとつく ②洗い落としにくい（密着性） ③分泌物の除去作用がない	プロベト 白色ワセリン
	水溶性基剤 マクロゴールを主とする	①水生分泌物を吸収し除去する作用が強い ②皮膚への浸透性が弱い ③水洗性がよい	①乾燥作用がある	アクトシン [®] 軟膏 ゾビラックス [®] 軟膏 カデックス [®] 軟膏 プロメライン [®] 軟膏
クリーム （バニシングクリーム製 品の大部分を占める）	水中油型（O/W型） 水・油相成分 乳化剤、保存剤含有	①浸透性がよい ②目立たない ③塗布感がよい ④のびがよい ⑤水洗性がよい	①刺激性は軟膏より大	ザーネ [®] 軟膏 ユベラ [®] 軟膏 ウレパール [®] 軟膏 レスタミン [®] 軟膏
クリーム （コールドクリーム）	油中水型（W/O型） 水・油相成分 乳化剤、保存剤含有	①適用範囲が広い ②水洗性がある ③浸透性やや大	①ややべとつく	ネリゾナユニバーサル クリーム [®] メサデルムクリーム [®] ヒルドイドソフト [®]
乳液状ローション	水中油型（O/W型） 水層部分が大	①目立たない ②冷却感がある ③水洗性がよい ④のびがよい	①流れやすく過量になる ことがある ②分離することがある	ヒルドイドローション [®] ウレパールローション [®]
ゲル	ヒドロゲル 網目構造を膨潤させてい る溶媒が水	①水生分泌物を吸収し除去する作用が強い ②水洗性がよい ③浸透性が弱い	①刺激性が軟膏・クリームより大	乾燥水酸化アルミニウム ゲル
	リオゲル（FAPG） 水層を欠く	①浸透性大 ②水洗性がよい	①刺激性が軟膏・クリームより大	トプシムクリーム [®]

〔基剤のpHの問題点〕

17位モノエステル型のステロイド外用薬はpHがアルカリ性に傾くことによってエステル転移を起こし、効果が低下してしまう。例えば、リンデロン[®]V軟膏とpHが8以上のパスタロンソフトを混合する場合、リンデロン[®]V軟膏の吉草酸ベタメタゾンはエステル転移を起こし、効果が約1/8に低下してしまうリスクがある¹⁾ (図1)。これとは逆に、乾癬治療に用いられるビタミンD₃外用薬はpHが酸性に傾くことにより失活することが知られており、とくにサリチル酸ワセリンとは混合禁忌とされているが、表3におけるウレパール[®]やヒルドイドソフト[®]なども、同様の理由で混合には適していないとされる。ビタミンD₃外用薬は、時にステロイド外用薬と混合で用いられ、その相加・相乗効果が期待されるが、一部のステロイド外用薬にはクエン酸が添加されており、同様の理由で混合には適していない。クエン酸含有のステロイド外用薬としては、マイアロン[®]、ジフラル[®]、ダイアコート[®]、フルコート[®]などがあげられる。

〔希釈による過信〕

ステロイド外用薬は希釈してもその効果および局所副作用が減弱することはない。一般に希釈による効果の推移は、非直線的で、ある希釈におい

ステロイドはpHがアルカリ性に傾くことによりエステル転移を起こし、含有量が低下する。この転移を起こすステロイドは17位にエステル基、21位にOH基をもつもので、混合する基剤のpHを考慮して選択する。

<代表例>

キンダベート[®]、デルモベート[®]、ベトネベート[®]、ポアラ[®]、リンデロン[®]V、ロコイド[®]など

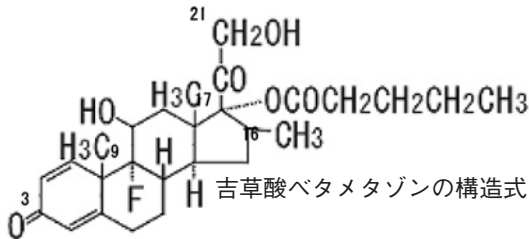


図1 ステロイドの安定性

表3 混合に使用される軟膏剤のみかけのpH

商品名	みかけのpH
亜鉛華軟膏 [®]	6.5~6.6
ウレパール [®]	5.1~5.3
ケラチナミン軟膏 [®]	6.8~7.0
ザーネ軟膏 [®]	7.8~8.1
パスタロンソフト [®]	8.1~8.2
ヒルドイドソフト [®]	5.4~5.5
ボンアルファクリーム [®]	6.8~8.0
モビラート軟膏 [®]	3.6~6.6

ては急激に低下するパターンを示し、1/4程度の希釈ではあまり効果が低下しないことが多い。アンテベート[®]軟膏では1/16の希釈まで効果に変化がみられないことが示されており、「希釈によって副作用が軽減できる」とする考え方は危険といえる。ステロイド外用療法のランクダウン・ランクアップには希釈ではなく、それぞれのランクの外用薬を用いるべきといえる。

〔塗布についての指導〕

外用量の目安として、FTU (finger tip unit) という単位が提唱され、普及してきている³⁾。1FTUは大人の人差し指の先端から第一関節まで5gチューブの外用量を押し出したときの量で1FTU=0.5gとなる。この量は両手の平に塗るのに必要な量と定義されている。片腕は3FTUで1.5g、片足は6FTUで3gとなる。

また、塗布方法は透過性に影響を与える因子である。塗布回数はマッサージ効果を与えるだけでなく、吸収量を増加させる。インドメタシン外用薬では塗布回数の増加に伴い、皮膚中血中濃度が有意に増加する⁴⁾。ステロイド外用薬、ビタミンD₃外用薬およびプロトピック軟膏は、透過の増加による副作用の点から塗擦すべきではない。また、5-FU軟膏やブレオ軟膏などに透過を高めるために用いられる密封療法は、非ステロイド性消炎鎮痛薬、ビタミンD₃外用薬では行うべきではない。ボルタレンゲルを密封療法で使用した場合、AUCが単純塗布の約80倍に増加し、経口投与よりも高い血中濃度を示す。

〔おわりに〕

以上の理由から、エビデンスのない安易な混合はするべきではないと考えられる。外用薬は内服薬に比べて剤形や基剤の影響を大きく受けるため、臨床ではこれらの知識が不可欠である。外用薬は使用方法を理解している患者も少なく、コンプライアンスが低いのが現状である。

今後、外用薬についても内服薬と同様に十分に理解したうえで服薬指導を行い、安全で有効な適正使用を心掛けたい。

引用文献

- 1) 江藤隆史：小児アトピー性皮膚炎の外用療法. J Pediatr Dermatol 25 : 3-7.2006
- 2) 江藤隆史, 大谷道輝：皮膚外用剤の混合による製剤学および臨床への影響. 日皮会誌 114 : 2080-2085.2004
- 3) C.C.Long et al : The finger-tip-unit a new practical measure. Clin Exp Dermatol, 16 : 444-447. 1991
- 4) 久木浩平：非ステロイド抗炎症薬の局所適応についての研究. 日薬理誌.79 : 461-485. 1982
盛岡赤十字病院 丹代 恭太

知っておきたい医薬用語 (49)

▶放射線

放射性元素の崩壊に伴って放出される粒子線または電磁波で、 α 線、 β 線、 γ 線の3種をいう。
また、広義にはそれらと同程度のエネルギーをもつ粒子線や宇宙線、X線なども含まれる。

▶放射線量

物質に照射された放射線の生物学的または化学的効果を定量的に表すための放射線の量。照射線量と吸収線量とがある。

▶許容線量 (きょようせんりょう)

放射線による人体への影響を考慮して決められた放射線量の限度。

▶ICRP (International Commission on Radiological Protection : 国際放射線防護委員会)

放射線防護の基本原則を適宜勧告するための国際的組織。この委員会から発表される許容線量などの諸勧告は、世界的に権威のあるものとされている。

▶ベクレル (Becquerel : Bq)

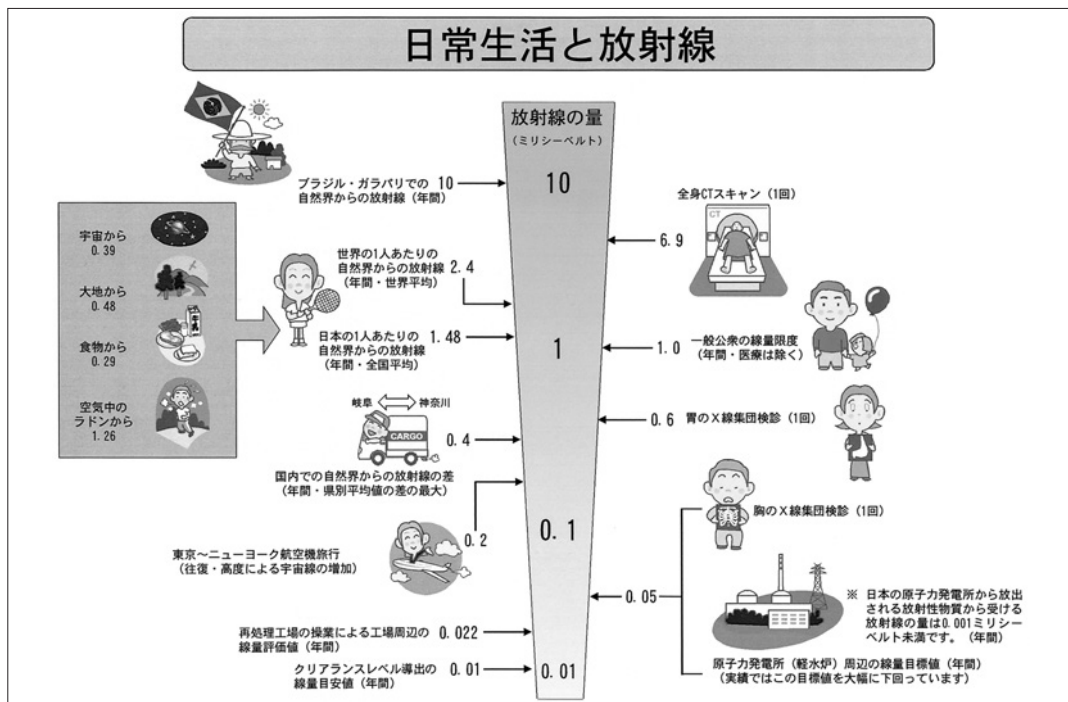
放射性物質が放射線を出す能力(放射能)を表す単位。1秒間に放射線を出す回数。国際単位系では、放射能の単位はベクレル (Bq) が用いられている。以前はキュリー (Ci) を使っていた。1 Ci = 3.7×10^{10} Bq

▶グレイ (Gray : Gy)

吸収線量を表す国際単位。記号はGy。1Gy = 1J/Kgのエネルギー吸収と定義されている。

▶シーベルト (Sievert : Sv)

放射線による人体への影響度合いを表す単位。被曝量の単位。記号はSv。日常生活と放射線の量を下図 (出典：資源エネルギー庁「原子力2010」他) に示す。



※放射性物質の測定については検査センターのページをご参照下さい。

気

になるサプリメント^{③⑥}

プエラリア・ミリフィカ

分類 植物由来

概要 プエラリア・ミリフィカ (Pueraria mirifica) は、タイ北部に自生するマメ科クズ属の植物で、大きな塊根をもつのが特徴である。タイでは、白ガウクルア (White kwao keur) と呼ばれ、塊根は若返りの薬として知られるほか、食用にもされていた。日本の葛 (Pueraria lobata) の近縁種である。近年、「豊胸」「美肌」「若返り」「強壮」「不妊」「更年期」「高脂血症」「骨粗鬆症」などによりとされ話題になっている。

成分・特徴 主な成分は、「植物性エストロゲン」と呼ばれるエストロゲン (女性ホルモン) によく似た構造と性質をもつ物質が多く含まれている。植物性エストロゲンは、エストロゲンの受容体に結合することで、エストロゲンに似たホルモン様作用を示す。以下に主な成分を示す。

【主な成分】

デオキシミロエストロール (deoxymiroestrol)	イソミロエストロール (isomiroestrol)
ミロエストロール (miroestrol)	
β -シトステロール (beta-sitosterol)	スチグマステロール (stigmasterol)
カンペステロール (campesterol)	spinasterol
ダイゼイン (daidzein)	ゲニスチン (genistein)
kuwakhurin	フォルモノネチン (formononetin)
ダイジン (daidzin)	ゲニステイン (genistin)
プエラリン (puerarin)	mirificin
クメステロール (coumestrol)	mirificoumestan
Pterocarpene	puemiricarpene

安全性 強いエストロゲン作用を有する成分を含む可能性があるため、安易に利用しないことが望ましい。特に、妊娠中、授乳中の婦人、小児については利用を避けるべきである。

相互作用 エストロゲン様作用のあるハーブやサプリメントとの併用では、それらの作用を増強する可能性があるため、注意が必要である。経口避妊薬の作用を競合的に阻害する可能性があると考えられる。タモキシフェンの作用に影響を与える可能性があるため、タモキシフェンを使用している人は摂取を避けるべきである。他の食品との相互作用については、十分な情報が得られていない。

参考資料 「健康食品」の安全性・有効性情報；2011
健康食品のすべて-ナチュラルメディシン・データベース-日本語版；田中平三ほか監訳, 2006
機能性食品素材便覧；清水俊雄ら著, 薬事日報社, 2004
サプリメント事典；日経ヘルス編、日経BP社、2004 ほか

★ お願い ★

「気になるサプリメント」は、おかげさまで36回となりました。これも会員の皆様の応援によるものと感謝申し上げます。このシリーズは、話題のサプリメントの素材となっている動植物についてご紹介しているものです。市販されている商品を紹介・評価しているものではありません。資料を利用される際は、十分にご注意くださいますようお願いいたします。

ある市民科学者へのあこがれ

盛岡支部 富山元子

東日本大震災によってもたらされた福島第一原発事故による放射能汚染の報道から、私はある人物を知りました。原子力発電へ警鐘を鳴らし続けた市民科学者の高木仁三郎さん（故人）です。

氏は、原子力発電の黎明期から研究者として身を置き、民間研究所、大学教員を経て、原子力資料情報室を立ち上げられました。核エネルギーの恐怖や原子力発電の問題点を、市民科学者の立場から発信し続け、時の権力者に物申した人でもあります。

氏の著書「食卓にあがった放射能」の中で、チェルノブイリ事故による実例を検証しながら、日本でチェルノブイリ級の事故が起きた場合のシミュレーションを行っております。

予想を上回る放射能雲の広がりや速度、雨の影響、ホットスポットの存在、甲状腺被曝、飲料水の汚染、食品汚染の始まり、セシウム汚染の持続などなど、今、日本で実際に起きている現象を見事すぎるくらいに予測されておられたのです。

日本の原発では事故は起こらないとする政府や電力会社の主張に対して、同書の中の次の言葉がとても印象に残りました。「どんなシステムも完全ではありえない。特に設計・製造・運転に人間がからむ以上、誤りの可能性は決して小さくない。人間が誤ったときにも大事故に発展させないような、自然の法則や原理を基本に置いた設計がなされるべきである」と。

狭い専門性の枠を超えて、市民の立場で取り組み、反原発運動に大きな影響を与えただけでなく、豊かな人間性と真摯な姿勢から、原発推進派の人たちからも一目置かれていた氏の意見に耳を傾け、少しでも取り入れてくれていたならと思うと、残念でなりません。

氏は、2000年にガンによって62歳の若さでお亡くなりになりました。前年に起きたJCO臨界事故を非常に憂い、原子力発電の安全性、放射性廃棄物の処理に危惧の念を抱きながら、後に残る人々が英知を結集して行動することを願っていたとのことでした。

日本の今の現状を、あの世でどのように見ておられるのでしょうか。

夏休みのためか、少し騒々しい図書館で執筆しています。この図書館に眠っている多くの先人が知恵を纏めて教えてくれているのに、何故人は、過去を顧みず愚かな失敗を繰り返すのか。私の人生は、それほど多くの時間は残されておりませんが、これから何をなすべきか、少し思いをめぐらせるひとときを過ごしました。

その図書館の郷土関係図書コーナーで、思いがけないことに、高木氏の「宮澤賢治をめぐる冒険—水や光や風のエコロジー—」という著書を発見しました。その第二話「科学者としての賢治」は、氏が宮沢賢治記念館開館五周年記念講演会で講演を行った際の内容をまとめたものでした。仕事上の問題で岐路に立っていたときに、偶然出会った賢治の言葉「われわれはどんな方法でわれわれに必要な科学をわれわれのものにできるか」に衝撃を受けたということです。この言葉は、賢治が羅須地人協会を始めたときの講義の演題なそうです。

それをきっかけに氏は、賢治についていろいろ調べ、「雨ニモマケズ」の一節「・・・ヒデリノトキハナミダヲナガシ サムサノナツハオロオロアルキ」に、若い頃とは違った印象を受け、大変打たれたとのこと。そして、大学を辞し、原子力資料情報室を立ち上げる決意を固めたと述べています。また、あとがきで、賢治のことを「現在の現実の中で私たちが苦闘するとき、いつも私たちと共にあって苦闘してくれる存在」と結んでいることを御紹介します。

岩手県薬剤師会誌の冊子の名称が、賢治の心象世界の中で理想郷を意味する「イーハトーブ」、8月10日発行の第25・26合併号の表紙の写真が、盛岡市材木町にある賢治像です。それを眺めながら、賢治に深い思い入れを持っておられた高木仁三郎先生に親近感を抱いて、氏の言葉をかみしめることにします。

◇ ◇ ◇
 今回は花巻支部の古川 有子先生にお願いしました。



保険薬局 及川憲太郎

冒頭この度の震災により亡くなられた方のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

私は内陸部の人間のため、幸いにも甚大な被害を免れた。しかし震災直後のライフラインが機能しない間の業務では、色々と考えさせられることが多かった。法律の解釈上グレーゾーンになりうる場面では、今日の前の患者さんの事を考えて最良の選択をすることに傾注した。また、薬の供給不足や停電による機器停止などで生じた薬剤選択の医師への提案では、自分の職能をより強く発揮できたように感じた。

私は地元の青年団体に所属しており、3回ほど沿岸部の炊き出し支援に参加してきた。少し時間が空いたので、海の見える方まで行ったが、あの時に嗅いだ街のにおいが忘れられない。TVやラジオで見聞きしたのとは違う本当の現実の一端に触れた気がした。そして派手なPRもない肅々とした支援の継続が必要だと改めて感じた。それができるのは、我々地元の岩手県民しかないと思う。



保険薬局 匿名

今回の震災は、何十年もかけて築き上げた防災対策を嘲笑うかのような大きさの震災であり、対策が不十分だったということはできないでしょう。いまの防災の技術では防ぐことのできない、大自然の脅威であったといえます。

しかし、この震災を通じて思ったことは、最近の日本は結果を求めるあまり安全性などの点について軽視しているように感じられる。いわゆる、危機管理・リスクマネジメントというものが欠けているように思われます。まあ、先日中国の高速鉄道の事故などを考えれば日本だけではないとは思いますが…。今回の福島第一原子力発電所の炉心トラブルもそうではないかと感じています。というのもテレビのニュースによれば、チェルノブイリの原発事故における教訓が生かされていなかったということがあるからです。津波被害などの心配のないヨーロッパにおける原発の

設計を参考に作られたため、津波に対する不安があったとのこと。「想定外の津波だった」という反論もあるのですが、事故が起こったときには深刻な被害を与える施設は、「絶対安全」が基本だと思います。想定外の津波による災害が起きた場合の代替案を用意しなければならないし、それも2重、3重のものでなければなりません。もしそうでなければ、怠慢であり認識が甘すぎると世間から白眼視されても仕方がないと思います。

今回の震災で、リスクマネジメントについていろいろ考えさせられることがありましたが、日々の薬剤師業務についても、リスクマネジメントについて再考しなければならないと思いました。



保険薬局 匿名

今までに誰もが経験したことのない東日本大震災から半年が経とうとしています。

多くの犠牲になられた方々や被害にあわれた方々の悲しみや苦しみを思うと、とても切ない思いでいっぱいです。

震災直後、被災された方々に薬剤師として何かお手伝いできればと思いましたが、医療機関の通常診療が麻痺、また薬品の供給も不足し、処方箋無しで薬の交付を求める患者様が薬局に殺到し、パニック状態になりました。薬がなくなり、もう何日も服用していない患者様や遠方の病院を受診できずに困っている患者など……。

震災前のごく普通の毎日が当たり前だと思っただけにはいけないんだと思い知らされました。自分も大きく変わらなければいけないという切迫感のようなものも感じています。

今後、原発を含めたエネルギー問題など私たちの生活は多くの変化を余儀なくされるかもしれません。まずは「1日1日を、その時その時を大切に生きていく」という思いで毎日を過ごしたいと思っています。



テーマ：震災を経験して…。～思ったこと、変わったことなど～

病院診療所 MT

被災されて沿岸から内陸に避難してきている方々の中には雇用促進住宅に入居したご家族も多々おられます。老朽化がかなり進んでおり、入居前にボランティアの方々がお掃除をして迎え入れたそうですが、カビがひどくて、一生懸命ふいても手の施しようがなかったようです。私も8年間雇用促進住宅に住んだことがあるのですが、毎日湿気とカビとの戦いでした。残念ながら入居した子供達は喘息になって来院するようになり、しかも皆さん最上階の5階（エレベーターなし）です。

薬物療法とともに環境を変えることが、治療の一つでもあるのに現実は無理です。

仮設住宅に入居すればおしまい、高速道路を無料化にすればよい・・・やりっぱなしです。

東北人は我慢強いですが、いつまで耐えられるのでしょうか・・・小さな声は届かないのでしょうか・・・

♪ ♪ ♪ ♪ ♪

保険薬局 Y. K

震災から、6カ月。

当薬局でも、お薬手帳をご持参して頂き、被災した方々のお薬を調剤する機会が増えてきました。住みなれない町を転々として、将来の不安を感じながら、ご自分の健康管理にも配慮しなければならない状況・・・震災の影響を受け、今までとは違う成分のお薬を服用しなければならない不安などもあったと思います。

しかし、お薬手帳を持参して頂いたことで、私共も十分な監査・指導ができ、安心したお顔をみせて帰られた時には、お薬手帳の重要性を実感しました。

最近では、さらなるお薬手帳の普及を目指しご自分の体調変化、OTC・健康食品の記載、処方医・薬局への相談事、残薬などを積極的に記載して頂き、万が一のためにも携帯するようにと指導をさせて頂いております。

♪ ♪ ♪ ♪ ♪

病院診療所 小笠原修二

3月11日の東日本大震災から半年過ぎようとしています。時間とともに町全体が少しずつ復興しているかも知れませんが、あまり実感は湧いてきません。

この震災で釜石支部の会員2名も行方不明になり多くの調剤薬局も壊滅的な被害を受け今は仮設薬局で、頑張っています。

今回のテーマは、震災により思ったことということですが私自身、なんか震災後から涙もろくなってきたような気がします。私は釜石でも山側に住んでいるので、津波の被害を受けていませんが、始めて被害地域を見た時は涙が出てしまいました。それから震災関連の記事やニュースを聞くたびに涙がでるようになり、毎日のように報道されているのでなんとかしなきゃと思うのですが、恥ずかしい限りです。時間が解決してくれるかもしれませんが。終わりに会員の皆様には今回の震災では様々な支援活動をして頂き本当にありがとうございました。御礼を申し上げます。

♪ ♪ ♪ ♪ ♪

保険薬局 匿名

3月11日の東日本大震災から約半年が経ちました。震災時は約2日間にわたる長時間の停電を経験したり、ガソリン不足のため普段は車通勤のところを電車で通勤したり、スーパーまで徒歩で往復1時間かけて買い物に行ったりと、それまでにない生活を強いられました。しかし、その生活は数週間だけで、今では何不自由なく震災前と変わらない生活ができています。その一方で、未だに元の生活ができていない方が大勢いるのが現実です。本当に自分は幸せなのだと感じます。

仕事の都合でボランティア活動には参加できませんが、自分に何かできることはないか日々考えながら過ごしています。このような大震災がもう二度と起こらないことを願いたいです。いつ何が起こるか分からないので常日頃から備えておきたいと思います。

♪ ♪ ♪ ♪ ♪



「震災（ボランティア）を経験して」

保険薬局 そここトライアスリート
私子供の頃を釜石で過ごし最近ではトライアスロンの大会・練習会等で根浜海岸には行く機会があり特別の思い出がありました。そこでゴールデンウィークを利用し根浜海岸の清掃活動のボランティアに参加しました。

大きな木や冷蔵庫、どこから来たのかバスタブなどもみんなの手で片付けました。またガラスの破片・空き缶・タバコの吸殻など小さなゴミもみんなの手で拾い集められ本当にきれいになりました。

大きな物は重機などで片付けられますが、このような小さなゴミはやはり気持ちのこもった人の手でなければこんなにきれいにはならなかったと思います。

機械のみではなく気持ちの入った人の手で行う仕事の極め細やかさ・大切さを感じました。

また機会があればボランティアに参加したいと思います。

次号の「話題のひろば」のテーマは、
『復興にむけて今思うこと』です。

ご意見は県薬事務局へ FAXかE-mailで
FAX： 019-653-2273
E-mail： ipa1head@rose.ocn.ne.jp
(アイ・ピー・イー・イチ・エイチ・イー・イー・ディー)

投稿について

*ご意見の掲載に当り記銘について下記項目からお選び、原稿と一緒にお知らせください。

(1) 記銘について

- | | |
|---------|---------|
| ①フルネームで | ②イニシャルで |
| ③匿名 | ④ペンネームで |

(2) 所属について

- | | |
|--------|--------|
| ①保険薬局 | ②病院診療所 |
| ③一般販売業 | ④卸売販売業 |
| ⑤MR | ⑥行政 |
| ⑦教育・研究 | ⑧その他 |

*誌面の関係で掲載できない場合のあることをご了承ください。

スクラップ帳から

禁煙補助薬で意識障害か

添付文書 副作用追加 ファイザーに指示 厚労省

ニコチン依存症の喫煙者に対する国内唯一の経口禁煙補助薬「チャンピックス」を飲んだ3人が自動車の運転中に因果関係の否定できない意識障害に陥り、接触事故を起こしたとして、厚生労働省は30日までに、販売する製薬大手ファイザー（東京）に対し、添付文書の「重大な副作用」に「意識障害」を追加するよう指示した。

ファイザーは指示に従い、同日までに「自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないよう注意すること」などと、医師向けの添付文書を改訂した。

薬は厚生労働省やファイザーによると、チャンピックスは、脳の神経細胞のニコチン受容体と結合し、たばこを吸いたい気持ちを抑える効果がある。厚生労働省によると、事故を起こした3人は40代女性と60代、70代の男性でいずれもけがはなかった。

(2011年8月31日付 岩手日報)



職場紹介



ふうせん薬局（盛岡支部）

ふうせん薬局は「なでしこジャパン」のおかげで知られることになった“滝沢スイカ”で有名な滝沢村にあり、通称国分通りと呼ばれる通りに面しております。

この通りは、『病院通り』とも呼ばれています。三愛病院をはじめ、整形外科、小児科、内科、歯科、整骨院、皮膚科、脳外科といろいろな病院が多く建っている地域です。

その一ヶ所、松尾皮膚科の隣にふうせん薬局があります。

皮膚科患者の方は、会話ができないほど体調の悪い方が少ないので、時間をかけて、生活のペースや食事のことなどを聞き取り、薬の使い方などを指導します。生活の乱れ、体調、ストレスにより皮膚症状が左右されることが多いことを説明します。

時間のある方は、自分の皮膚のことだけでなく、併用薬、検査、OTC薬、健康食品のことを聞いたり、医師の紹介を求められたりすることもあります。

自分の家族の病気のこと、介護が大変なことを話される方もいらっしゃいます。

3月の震災の後、被災され転居、転勤して来局される方もおり、今までの薬の内容も変更している場合もあり、詳しい説明を心がけています。たくさんの方と話をするほど、心のケアの大切さを日々感じています。

薬局内の薬の種類が少ないため青山地区や滝沢地区の薬局のお世話になり、他の医療機関からの処方に対応しています。

これからも近隣の薬局の皆様にはご指導のほどよろしくお願いいたします。

自分なりの勉強を続けながら、皆様の役に立つ情報も身につけたいと思っております。



〒020-0173 滝沢村滝沢字牧野林1010-11
TEL : 019-699-2011 FAX : 019-699-2012

つくし薬局新穀店（遠野支部）

つくし薬局新穀店は、それまであったみずき薬局から引き継ぎ、平成22年9月1日にオープンし、今年の9月で1周年を迎えることが出来ました。

当薬局は遠野駅前通りの沿いにあり、遠野駅から歩いて3分の交通の便のよいところにあります。遠野は民話の町であり、「河童淵」をはじめとする観光地も沢山あります。数年前に、ドラマ「どんど晴れ」、最近では映画「星降る犬」のロケ地にもなりました。また、遠野はジンギスカンが有名で、各精肉店自慢の肉とオリジナルのタレでジンギスカンを堪能出来ます。

薬局スタッフは薬剤師2名、医療事務2名の合計4名です。スタッフ全員仲がよく、チームワークのよい薬局です。薬局の近くには様々な医療機関がありますが、近くの菊池俊彦内科クリニックからの処方箋が一番多いです。また盛岡赤十字病院や県立中央病院をはじめ他の市町村からの処方箋もあり、約30の医療機関から処方箋を受け付けております。たまに県外から来る処方箋もあり、薬を探すのに苦労することもあります。近くのクリニックが胃腸科の先生ということもあり、胃腸に関する相談をよく受けます。ストレスを抱えている方も多く、患者様の生活背景等を考慮しながら、相談に応じる様に心がけております。今回の震災で沿岸地域からも患者様が来られました。被災された方々のケアは容易なことではありませんが、少しでもお役に立てればと思ひ奮闘しております。

患者様のニーズは日々変化し、それぞれ違いますが、それをとらえ対応出来るように日々努力しております。薬局を利用して頂くすべての方が満足して帰ることができるような薬局作りを目標に日々頑張っております。今後ともよろしくお願いたします。



〒028-0522 遠野市新穀町5-18
TEL : 0198-63-1300 FAX : 0198-63-1301



会員の動き



(平成23年7月1日～平成23年8月31日)

☆会員登録の変更について

勤務先・自宅住所・雑誌発送先・薬剤師区分等に変更があった場合は、変更報告書（3枚複写）を提出していただくことが必要になります。電話等で県薬事務局に用紙を請求して下さい。

☆退会について

退会を希望される場合は、退会届（3枚複写）を提出していただくことが必要になります。県薬事務局まで連絡をお願いします。

(7月 入会)

支部	業態	氏名 勤務先	〒	勤務先住所	勤務先TEL	勤務先FAX	出身校 卒業年
盛岡	6	富 樫 輔 フローレンス薬局	020-0022	盛岡市大通1-5-7	019-625-7820	019-623-0627	東北薬大 H14
盛岡	2	中 村 和 人 (株)アポテック	039-1102	八戸市一番町2-3-15	0178-38-7637	0178-38-7639	東北薬大 H5
盛岡	6	本 田 雅 志 そうごう薬局盛岡つなぎ店	020-0055	盛岡市繫字尾入野64-9	019-691-7251	019-689-3752	東北大 H21
北上	6	木 村 智 美 おおぞら薬局	024-0083	北上市柳原町4-15-29	0197-65-2202	0197-65-3373	城西国際 H20
北上	6	関 根 ゆ み おおぞら薬局	024-0083	北上市柳原町4-15-29	0197-65-2202	0197-65-3373	東北大 H17
気仙	6	齊 藤 愛 美 そうごう薬局高田店	029-2204	陸前高田市気仙町字中堰46-2	080-1760-0005		東北薬大 H18
気仙	6	高 橋 佑 輔 そうごう薬局高田店	029-2204	陸前高田市気仙町字中堰46-2	080-1760-0005		日大 H20
宮古	6	勝 田 理 保子 ミドリ薬局	027-0025	宮古市実田2-5-9	0193-63-0027	0193-63-1170	千葉科学 H21
二戸	6	佐 藤 知 香 堀野調剤薬局	028-6105	二戸市堀野字大川原毛89-1	0195-25-5016	0195-25-5017	北薬大 H19

(8月 入会)

支部	業態	氏名 勤務先	〒	勤務先住所	勤務先TEL	勤務先FAX	出身校 卒業年
盛岡	6	島 谷 美 香 スタイル薬局	020-0133	盛岡市青山3-6-2	019-646-5757	019-641-7055	北薬大 H14
盛岡	6	沼 尾 美 保 日本調剤盛岡中央薬局	020-0023	盛岡市内丸17-8	019-622-1193	019-622-0121	北大 H8
一関	4	河 田 拓 一関ドライブスルー薬局	029-0131	一関市狐禅寺字大平123-2	0191-31-8805	0191-31-8806	東薬大 H20
一関	4	長 澤 陽 そうごう薬局大原店	029-0711	一関市大東町大原字立町113	0191-71-2511	0191-71-2512	東薬大 H16

(8月 賛助入会)

支部	社(店)名	代表者	〒	住所	TEL	FAX
盛岡	アース調剤薬局	太 田 郁 夫	020-0015	盛岡市本町通2-10-34	019-621-8601	019-621-8602

(7月 変更)

支部	氏名	変更事項	変更内容
盛岡	菅 由子	勤務先	〒020-0147 盛岡市大館町24-75 かん薬局 電話019-645-0923 FAX019-647-0363
盛岡	小林 進一	勤務先及び支部	〒028-3305 紫波町日詰字下丸森121-7 ファミリー薬局 電話019-671-1195 FAX019-672-1770 旧支部北上
盛岡 (賛助)	日本ケミファ(株) 仙台支店盛岡営業所	代表者	野々川 晃好
盛岡	沼田 美代子	勤務先	〒020-0851 盛岡市向中野1-11-24 みなみ薬局 電話019-635-8561 FAX019-635-8562
花巻	軽石 武晴	勤務先	〒025-0091 花巻市西大通り2-3-1 二十六薬局 電話0198-23-2626 FAX0198-23-4055
花巻	熊谷 絵美	勤務先及び支部	〒025-0091 花巻市西大通り2-1-25 調剤薬局ツルハドラッグ西大通店 電話0198-21-5878 FAX0198-21-5878 旧支部北上
北上	伊藤 勝彦	勤務先及び支部	〒024-0083 北上市柳原町4-15-29 おおぞら薬局 電話0197-65-2202 FAX0197-65-3373 旧支部花巻
北上	小田島 知恵	勤務先	〒024-0012 北上市常盤台1-22-21 常盤台薬局 電話0197-61-2121 FAX0197-65-7101
北上	小田島 大雅	勤務先及び支部	〒024-0083 北上市柳原町4-15-29 おおぞら薬局 電話0197-65-2202 FAX0197-65-3373 旧支部奥州
北上	金野 亜純	勤務先	〒024-0051 北上市相去町相去51 ほのぼの薬局 電話0197-71-2727 FAX0197-81-5858
北上	森内 智衣	勤務先	〒024-0012 北上市常盤台1-22-21 常盤台薬局 電話0197-61-2121 FAX0197-65-7101
北上	若山 利夫	勤務先	〒024-0094 北上市本通り2-1-32 びーす薬局 電話0197-61-2411 FAX0197-64-3222
奥州	後藤 博	勤務先	〒023-1102 奥州市江刺区八日町1-1-34 りんご薬局 電話0197-31-1177 FAX0197-35-8448
奥州	堀籠 穆	勤務先	〒023-0003 奥州市水沢区佐倉河字東広町83-1 フラワー薬局 電話0197-23-2134 FAX0197-51-1311
気仙	大坂 敏夫	勤務先	〒029-2206 陸前高田市米崎町字野沢18-1 気仙中央薬局高田店 電話0192-53-1250 FAX0192-53-1251
気仙	熊谷 広美	勤務先	〒029-2204 陸前高田市気仙町字中堰40-1 コスモ薬局高田店 電話0192-53-1018 FAX0192-53-1073
気仙	熊谷 玲子	勤務先住所	大船渡市大船渡町字新田49-3
気仙	佐々木 智広	勤務先及び支部	〒022-8512 大船渡市大船渡町字山馬越10-1 県立大船渡病院 電話0192-26-1111 FAX0192-27-9285 旧支部奥州
気仙	鈴木 友和	勤務先	〒029-2206 陸前高田市米崎町字野沢18-1 気仙中央薬局高田店 電話0192-53-1250 FAX0192-53-1251
気仙	中澤 絵里	勤務先	〒022-0002 大船渡市大船渡町字山馬越182-4 気仙中央薬局 電話0192-26-6231 FAX0192-26-5511
宮古	熊谷 壮一郎	勤務先	〒028-1311 山田町大沢13-197 山田調剤薬局 電話0193-82-3224 FAX0193-82-0133
宮古	三浦 敏子	勤務先	〒027-0373 宮古市田老字向新田148 田老調剤薬局 電話0193-87-5501 FAX0193-88-5921
久慈	福本 優悟	勤務先	〒028-0014 久慈市旭町9-127 サンケア薬局県立久慈病院前店 電話0194-61-1888 FAX0194-61-1777
二戸	三浦 美子	勤務先	〒028-5301 一戸町西法寺字稲荷21-1 めぐみ薬局 電話0195-31-1800 FAX0195-32-2228

(8月 変更)

支部	氏名	変更事項	変更内容
盛岡	相川 睦子	勤務先	無従事
盛岡	海老子川 健司	勤務先及び支部	〒020-0852 盛岡市飯岡新田1-79-1 本宮センター薬局 電話019-656-5867 FAX019-656-5868 旧支部花巻
盛岡	佐々木 稔夫	勤務先及び支部	〒020-0015 盛岡市本町通2-10-34 アース調剤薬局 電話019-621-8601 FAX019-621-8602 旧支部遠野
盛岡	佐々木 宏元	勤務先	無従事
盛岡	藤澤 徹	勤務先及び支部	無従事 旧支部二戸
盛岡 (賛助)	山口 文夫	勤務先	〒980-0804 仙台市青葉区大町2-11-17 (株)ライフファーマ 電話022-224-4850 FAX022-224-4820
花巻	梅木 効	勤務先	〒024-0055 北上市大堤南1-1-24 調剤薬局ツルハドラッグ大堤店 電話0197-67-6324 FAX0197-67-6304
北上	小野 正視	勤務先	無従事
北上	小原 和雄	勤務先及び支部	〒024-0051 北上市相去町大松沢1-98 (株)メディセオ北上支店 電話0197-67-4771 FAX0197-67-5395 旧支部盛岡
北上	田中 茉莉子	勤務先及び支部	〒024-0051 北上市相去町相去51 ほのぼの薬局 電話0197-71-2727 FAX0197-81-5858 旧支部盛岡
北上	松坂 久美子	支部	旧支部 盛岡

支部	氏名	変更事項	変更内容
奥州	及川 章子	勤務先	〒023-0003 奥州市水沢区佐倉河字東広町83-1 フラワー薬局 電話0197-23-2134 FAX0197-51-1311
奥州	松橋 昌平	勤務先及び支部	〒029-4208 奥州市前沢区二十人町53-1 つくし薬局前沢店 電話0197-41-3663 FAX0197-41-3662 旧支部二戸
一関 (賛助)	イオンスーパー センター(株)	代表者	宮下 雄二
一関	岩元 厚智	勤務先及び支部	〒029-0202 一関市川崎町薄衣字久伝17-1 つくし薬局川崎店 電話0191-36-5002 FAX0191-43-2655 旧支部気仙
一関	辛 裕美子	勤務先及び支部	〒029-0803 一関市千厩町千厩字草井沢43-1 千厩調剤薬局 電話0191-51-1666 FAX0191-51-1660 旧支部盛岡
気仙	伊藤 友見	勤務先及び支部	〒022-0004 大船渡市猪川町字中井沢10-10 つくし薬局猪川店 電話0192-21-3663 FAX0192-27-0066 旧支部奥州
気仙	齊藤 愛美	勤務先	〒029-2206 陸前高田市米崎町字野沢17-1 そうごう薬局高田店 電話0192-53-2251 FAX0192-53-2252
気仙	高橋 佑輔	勤務先	〒029-2206 陸前高田市米崎町字野沢17-1 そうごう薬局高田店 電話0192-53-2251 FAX0192-53-2252
遠野	磯田 勇人	勤務先及び支部	〒028-0523 遠野市中央通り6-15 つくし薬局遠野店 電話0198-63-1717 FAX0198-62-7800 旧支部釜石
釜石	穴久保 圭子	勤務先	〒026-0025 釜石市大渡町2-6-12 おおぞら薬局 電話0193-31-2030 FAX0193-31-2031
釜石	佐々木 千穂	勤務先	〒028-1131 大槌町大槌13地割字八幡前129-11 つくし薬局末広店 電話0193-41-2100 FAX0193-41-2102
二戸	鈴木 明子	勤務先及び支部	〒028-6103 二戸市石切所字川原28-10 つくし薬局二戸店 電話0195-22-3311 FAX0195-23-8811 旧支部一関

7月退会

(盛岡) 青山 智幸、工藤 定暉、鳥羽由加子、根田 祥広 (北上) 小瀬川貴幸、高橋 晶子、
竹澤 智子 (奥州) 佐藤 隆夫 (一関) 菅野 洋喜、鈴木 雅之 (久慈) 丹代 冬彦
(二戸) 倉内 英

8月退会

(盛岡) 阿部 正道、猪崎 杏子、平野久美子、吉川 敬太 (花巻) 後藤久美子 (一関) 染谷 光洋
(気仙) 朝田 卓磨、澤田 義弘、田中 宏明

	正会員	賛助会員	合計
平成23年8月31日現在	1,642名	101名	1,743名
平成22年8月31日現在	1,650名	104名	1,754名

訃 報

花巻支部 小田島 實 平成23年7月28日
謹んでご冥福をお祈り申し上げます。



新たに指定された保険薬局

支部名	指定年月日	薬局名称	開設者名	〒	住所	TEL
盛岡	H23.08.01	津志田薬局	中村 和人	020-0838	盛岡市津志田中央2丁目18-23	019-614-9986
気仙	H23.08.01	そうごう薬局高田店	金納健太郎	029-2206	陸前高田市米崎町字野沢17-1	0192-53-2251
奥州	H23.08.01	フラワー薬局	松田 弘	023-0003	奥州市水沢区佐倉河字東広町83-1	0197-23-2134
釜石	H23.08.01	つくし薬局末広店	西館 孝雄	028-1131	大槌町大槌第13地割字八幡前129-11	0193-41-2100
盛岡	H23.09.01	アース調剤薬局	太田 郁夫	020-0015	盛岡市本町通2丁目10-34	019-621-8601
奥州	H23.09.01	オレンジ薬局江刺店	高橋 信一	023-1103	奥州市江刺区西大通り4-24	0197-31-2566



求人情報



受付日	種別	勤務地	求人者名	勤務時間		休日	その他
				平日	土曜日		
23.9.1	保険薬局	矢巾町大字南矢幅7	薬王堂矢巾店	9:00~18:00	9:00~18:00	契約による	調剤 1名 OTC 1名
23.8.25	保険薬局	盛岡市材木町	どんぐり薬局材木町	9:00~18:00	9:00~14:00	日・祝祭日そ 他1日	
23.8.24	保険薬局	一関市山目字中野	かめちゃん調剤薬局一 関店	9:00~18:00	9:00~16:00	日・祝祭日	
23.8.18	保険薬局	盛岡市上田のほか盛岡 市内	こずかた薬局	9:00~18:00	9:00~16:00	日・祝祭日ほ か月2回	パート可
23.6.28	病院	陸前高田市高田町字大 隈	希望ヶ丘病院	8:30~17:15	-	土日祝祭日	
23.6.19	保険薬局	香川県高松市香川町大 野	おおの調剤薬局				要:被災証明書 住宅、車両等無償貸与
23.6.17	保険薬局	大船渡市大船渡町字山 馬越	気仙中央薬局	8:00~19:00	9:00~13:00	日・祝祭日、 土曜日隔週	
23.5.30	保険薬局	盛岡市上田1	リーブ薬局	応相談	応相談	応相談	パート
23.5.30	保険薬局	盛岡市上田1	リード薬局	8:00~19:00	9:00~13:00	日・祝祭日土 曜日隔週	
23.5.26	保険薬局	久慈市旭町	ホソタ薬局	9:00~18:00	-	土、日、祝祭 日	
23.5.26	保険薬局	盛岡市繫尾入野	そうごう薬局盛岡つな ぎ店	9:00~18:00	9:00~13:00 (第1.3.5)	日、祝祭日4 週6休以上	週40時間シフト
23.5.26	保険薬局	陸前高田市気仙町字中 堰	そうごう薬局高田店	8:30~18:00	9:00~13:00	土、日、祝祭 日	週40時間シフト
23.5.26	保険薬局	大東町大原字立町113	そうごう薬局大原店	9:00~18:00	-	土、日、祝祭 日	週40時間シフト
23.5.26	保険薬局	住田町世田米	そうごう薬局住田店	9:00~18:00	-	土、日、祝祭 日	週40時間シフト
23.2.17	保険薬局	岩手町江刈内10三本松	そうごう薬局岩手町店	9:00~18:00	9:00~13:00	日、祝祭日	週40時間シフト
23.4.25	病院	宮古市山口5	宮古山口病院	8:20~17:20	-	土・日・祝祭 日	完全週休二日制
23.4.26	病院	盛岡市津市田	川久保病院	8:45~17:15	8:45~12:30	日、祝祭日	4週6休
23.4.11	保険薬局	和歌山県紀の川市	粉河本町薬局	9:00~18:00	9:00~12:30	日・祝祭日	移動費用一部負 担社宅用意
23.3.29	その他	盛岡市上田字松屋敷	盛岡少年刑務所	13:00~16:00	-	土・日・祝祭 日	
23.3.2	保険薬局	一関市大手町7	大手町薬局	9:00~18:00	9:00~13:00	日・祝祭日	
23.2.25	病院	盛岡市下米内2	中津川病院	8:30~17:15	-	土・日・祝祭 日	週3回程度の非 常勤
23.2.18	保険薬局	遠野市中央通6	小田島薬局	8:30~17:30	8:30~12:30	日、祝祭日 (週休二日)	
23.2.14	保険薬局	一関市山田字泥田89	マイカル一関サティ内 調剤薬局	15:00~21:00	15:00~21:00 (土・日交代制)	交代制	パート
23.2.4	保険薬局	陸前高田市小友町字下 新田	小友調剤薬局	8:30~17:30	8:30~12:30	日、祝祭日、 水曜日	パート可
23.2.4	保険薬局	二戸市石切所字森合	木いちご薬局	9:00~18:00	9:00~13:00	日・祝祭日	週40時間
23.2.4	保険薬局	盛岡市月が丘1	みつばち薬局	9:00~18:00	9:00~13:00	日・祝祭日	週40時間
23.1.31	保険薬局	花巻市西大通り	パール薬局	8:30~18:30	8:30~13:00 (木・土)	木、土の午後日、祝 祭、お盆、年末年始	パート可保育料 の補助あり

■岩手県薬剤師会【薬剤師無料職業紹介所】では、求人、求職ともそれぞれ、「求人票」、「求職票」を登録のうえでのご紹介となっております。登録をご希望のかたは、直接来館または、「求人票」「求職票」を送付いたしますので県薬務局（電話 019-622-2467）までご連絡ください。受付時間は（月～金／9時～12時、13時～17時）です。なお、登録については受付日～三ヶ月間（登録継続の連絡があった場合を除く）とします。



図書紹介



1. 「学校と学校薬剤師2011」

発行 薬事日報社
判型 A 4判 245頁
定価 3,780円 (税込)
会員価格 3,150円 (税込)
送料 ①県薬及び支部に送付の場合無料
②個人宛一律450円、10冊以上
同一箇所に送付の場合無料

会員価格 1,800円 (税込)
送料 ①県薬及び支部に送付の場合無料
②個人宛一律500円、10冊以上
同一箇所に送付の場合無料

2. 「保険薬事典平成23年8月版」

発行 じほう
判型 A 5判 850頁
定価 4,620円 (税込)
会員価格 4,160円 (税込)
送料 ①県薬及び支部に送付の場合無料
②個人宛一律500円、10冊以上
同一箇所に送付の場合無料

6. 「薬剤師として身につけておきたい老年薬学 プラクティス」

発行 南江堂
判型 B 5判 190頁
定価 3,675円 (税込)
会員価格 3,310円 (税込)
送料 ①県薬に送付の場合無料
②個人宛一律525円、10冊以上
同一箇所に送付の場合無料

3. 「保険薬事典プラス平成23年8月版」

発行 じほう
判型 A 5判 950頁
定価 4,830円 (税込)
会員価格 4,350円 (税込)
送料 ①県薬及び支部に送付の場合無料
②個人宛一律500円、10冊以上
同一箇所に送付の場合無料

7. 「薬剤師がはじめるフィジカルアセスメント」

発行 南江堂
判型 B 5判 191頁
定価 3,990円 (税込)
会員価格 3,600円 (税込)
送料 ①県薬に送付の場合無料
②個人宛一律525円、10冊以上
同一箇所に送付の場合無料

4. 「在宅医療Q & A平成23年版

服薬支援と多職種協働・連携のポイント」

発行 じほう
判型 A 5判 170頁
定価 2,415円 (税込)
会員価格 2,100円 (税込)
送料 ①県薬及び支部に送付の場合無料
②個人宛一律500円、10冊以上
同一箇所に送付の場合無料

8. 「薬剤師のための疾患別薬物療法Ⅲ 心臓・血管系疾患/腎疾患/泌尿・生殖器疾患」

発行 南江堂
判型 A 4判 193頁
定価 3,990円 (税込)
会員価格 3,600円 (税込)
送料 ①県薬に送付の場合無料
②個人宛一律525円、10冊以上
同一箇所に送付の場合無料

5. 「生活機能と薬からみる 体調チェック・フロー チャート解説と活用 第2版」

発行 じほう
判型 A 4判 94頁
定価 2,100円 (税込)

9. 「オレンジブック保険薬局版2011年8月版」

発行 薬事日報社
判型 B 5判 約530頁
定価 5,775円 (税込)
会員価格 4,900円 (税込)
送料 ①県薬及び支部に送付の場合無料
②個人宛一律450円、10冊以上
同一箇所に送付の場合無料

☆図書の購入申し込みは、専用の申し込み用紙で、県薬事務局までFAXして下さい。

専用の申し込み用紙は、県薬ホームページ会員のページからダウンロードしてご利用下さい。

県薬ホームページ <http://www.iwayaku.or.jp/>

会員のページ ユーザー名 iwayaku

パスワード ipa2210

「生涯教育研修会」のご案内

平成23年3月11日に発生した東日本大震災では、沿岸地域の会員は、自らも被災しているにもかかわらず、震災発生直後から、地域医療の維持・再生に向けて、行政や関係団体、さらには医療支援チームと連携して積極的な活動を行ってきました。

震災発生から半年が経過し、多くのボランティア薬剤師の支援もあり、着実にその成果を上げ、復興に向けて歩みを始めたところでもあります。一方で、「今後、私たち薬剤師は、そして薬剤師会は何をすべきか」を真剣に考え、行動していかなければなりません。

そのためには、今まで経験したことのない、まさに「想定外」の状況の中で、「何が起きて、何を考え、何をを行ったのか？」を知ることから始める必要があります。

そこで、今回は、実際に対応にあたった沿岸地域の会員から発表いただき、情報を共有したいと考えます。

つきましては、お誘い合わせのうえ、ご参加いただきますようご案内申し上げます。

なお、参加希望の方は、FAX（019-653-2273）またはE-mail（ipalhead@rose.ocn.ne.jp）で、11月11日（金）までに県薬事務局までお申し込み下さい。

記

日時：平成23年11月20日（日） 午後1時～午後4時30分（予定）

場所：エスポワールいわて 2階 大会議室

内容：震災対応活動報告

テーマ「ALL TOGETHER ～ひとつになろう～」

1. 薬剤師会からのメッセージ（13：00～13：10）

岩手県薬剤師会会長 畑澤 博巳

岩手県病院薬剤師会会長 工藤 賢三

2. 震災対応活動報告

“想定外” 「そのとき何が起き、何を考え、何をを行ったのか？」

座長：岩手県薬剤師会副会長 宮手 義和

非常時災害対策委員会委員長 畑澤 昌美

(1) 支援物資の供給について（13：10～13：30）

くすりの情報センター課長補佐 高橋菜穂子

(2) 病院勤務薬剤師から（13：30～14：10）

岩手県立大船渡病院薬剤科長 工藤 琢身

れもん薬局 田村 満博

(3) 宮古支部（14：10～14：50）

宮古薬剤師会副会長 湊谷 寿邦

同 副会長 吉田 圭一

（休憩 10分）

(4) 釜石支部（15：00～15：40）

釜石薬剤師会理事 中田 義仁

(5) 気仙支部（15：40～16：20）

気仙薬剤師会幹事 金野 良則

(6) 質疑（16：20～16：30）

主催：岩手県薬剤師会 共催：岩手県病院薬剤師会

以上

編集後記

3月なのに雪がちらつき、寒かったあの日から半年以上経ち、季節は巡り巡って秋になろうとしています。我々、内陸にいる人間は以前と何も変わらない生活を取り戻していますが、津波の被害に遭われた沿岸の方々は、今も大変な苦勞をされています。それを風化させないためにも、今号から沿岸支部の状況等を紹介するコーナーを特集します。

第1回は、釜石支部です。皆さん、震災直後から現在に至るまでを詳細に伝えてくださり、今までテレビ等で得たものとは違い、自分の業務に置き換えて自分が体験したもののように生々しく感じられました。

これから秋が深まり、冬に向かい更に厳しい状況が待ち受けていると思いますが、沿岸の方々の状況を知り、応援をしていきたいと思います。（編集委員長 高林江美）

．．．．． お知らせ ．．．．．

（社）岩手県薬剤師会ホームページ <http://www.iwayaku.or.jp/>

「会員のページ」ユーザー名 **iwayaku**
パスワード **ipa2210**

「イーハトーブ」は、会員相互の意見や情報の交換の場です。

会員の皆様からの投稿・意見・要望をお待ちしております。

投稿・意見・要望あて先 県薬事務局 TEL 019-622-2467 FAX 019-653-2273

e-mail ipalhead@rose.ocn.ne.jp

(アイ・ピー・エー・イチ・エイチ・イー・エー・ディー)

編 集	担当副会長	宮手義和
	担当理事(広報委員会)	畑澤昌美、中田義仁、高林江美、押切昌子、工藤琢身、坂本秀樹
	編集委員(編集委員会)	高林江美、高野浩史、鈴木可奈子、安倍 奨
	支部編集委員	高野浩史(盛岡)、伊藤勝彦(花巻)、三浦正樹(北上)、 千葉千香子(奥州)、阿部淳子(一関)、金野良則(気仙)、 関 知則(遠野)、佐竹尚司(釜石)、船越祐子(宮古)、 細田初実(久慈)、松尾智仁(二戸)

イーハトーブ～岩手県薬剤師会誌～ 第27号

第27号(奇数月1回末日発行)	平成23年9月28日 印刷		
	平成23年9月30日 発行		
発行者	社団法人 岩手県薬剤師会	会長	畑澤博巳
発行所	社団法人 岩手県薬剤師会	〒020-0876	盛岡市馬場町3番12号
		TEL (019) 622-2467	FAX (019) 653-2273
		e-mail	ipalhead@rose.ocn.ne.jp
印刷所	杜陵高速印刷株式会社	〒020-0811	盛岡市川目町23番2号 盛岡中央工業団地
		TEL (019) 651-2110	FAX (019) 654-1084

岩手県医薬品卸業協会

株式会社小田島

〒025-0008 岩手県花巻市空港南2-18

☎0198(26)4211

株式会社恒和薬品岩手営業部

〒020-0891 岩手県紫波郡矢巾町流通センター南4-10-2

☎019(639)0755

株式会社ショウエー岩手営業本部

〒020-0122 岩手県盛岡市みたけ2-7-15

☎019(641)4455

株式会社スズケン岩手

〒020-0125 岩手県盛岡市上堂4-5-1

☎019(641)3311

東邦薬品株式会社岩手営業部

〒020-0891 岩手県紫波郡矢巾町流通センター南3-4-12

☎019(638)8288

株式会社バイタルネット岩手営業部

〒020-0891 岩手県紫波郡矢巾町流通センター南3-1-12

☎019(638)8891

株式会社メディセオ東北支社岩手営業部

〒020-0161 岩手県岩手郡滝沢村篠木字黒畑135-8

☎019(687)4800



平泉

祝 世界遺産登録